

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	1	農林業の振興	
施策の体系(柱)	1	農地や農業用施設などの整備	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の集積・集約、耕作放棄地解消 ・健全農地確保に向けた鳥獣・病害虫対策強化 ・家畜伝染病予防に向けた防疫体制強化 ・生産性向上に向けた、ほ場、用水路、取水口、農道の基盤整備 ・水路を含む農業用施設の維持・長寿命化支援 ・農地・農業用施設の被災への備え、速やかな復旧体制構築
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な営農を支える農業基盤、農業用施設等の整備や維持管理の実施による農業生産性の向上 ・意欲ある担い手への農地の集積・集約による耕作放棄地の解消

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	農地費	農業用施設を管理し施設の有効活用・長寿命化を図る	3,723	農政課	A	
2	土地改良事業助成金	地元が土地改良施設の改修等を行う際の70%助成を行う	14,242	農政課	B	●
3	多面的機能支払交付金事業	農地の多面的な機能を維持するために各活動組織が行う維持活動等への補助	102,636	農政課	B	●
4	県営かんがい排水事業負担金	県営下井手及び上井手改修工事に伴う負担金		農政課	A	
5	畜産業費	鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が万一発生した場合の初動防疫体制の事前整備	757	農政課	A	
6	鳥獣害防止対策事業	鳥獣害により農作物に被害が及ばないよう電気牧柵等の設置費用補助	1,870	農政課	A	
7	有害鳥獣捕獲事業	有害鳥獣による農作物被害に対処するため、大津町有害鳥獣捕獲隊・大津町広域協定運営委員会に対する助成	2,507	農政課	A	
8	農地管理費	農業振興地域整備計画に基づく農振農用地の適正管理	123	農政課	A	
9	農業委員会費	耕作放棄地の解消、担い手への農地集積・集約化などの農地の保全・有効活用を推進	12,016	農業委員会	B	●
10	矢護川地区 経営体育成基盤整備事業	県営圃場整備事業（農地中間管理機構関連農地整備事業）の実施	4,300	農政課	A	●
11	農地中間管理機構事業	意欲ある担い手に農地を集積・集約化するため、農地中間管理機構を通じた農地の貸借を推進	1,913	農政課	A	
12	人・農地問題解決加速化支援事業	地域の話合いを基本に地域の中心となる担い手を決定・育成し、農地集積による経営の大規模化・効率化を図るための「地域計画(人・農地プラン)」の策定	615	農政課	B	
13	菊池台地農業用施設更新事業	護川畑総、大津北部畑総事業で整備した幹線水管の機能診断・施設保全計画に基づいた更新	8,666	農政課	A	●

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	9	4	0	0	13		
合計点数	900	300	0	0	1200	92.3	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	多面的機能支払交付金事業						解決した課題	広域化（29組織を統一）したことにより、交付金を効率的に活用できる体制となった。
事業概要	農地の多面的な機能を維持するために各活動組織が行う維持活動等への補助						残された課題	高齢化により実作業に支障が出てきている組織もある。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		102,636 千円			今後の施策展開の方向性	ICT等を活用した機械を導入し、高齢化による作業効率の低減を防止していく必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
活動組織	組織	1	1	/	/	1		

事業名	土地改良事業助成金						解決した課題	農業用施設の修繕や更新により、長寿命化を図ることができた。
事業概要	地元が土地改良施設の改修等を行う際の70%助成を行う						残された課題	多面的機能支払交付金事業の活動区域に入っていない地区の土地改良事業を本事業でどれだけカバーできるか検討する必要がある。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		14,242 千円			今後の施策展開の方向性	多面的機能支払交付金事業のエリアを見直すことにより、本事業の縮小を図っていく必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
事業費補助	件	9	11	/	/	2		

事業名	農業委員会費						解決した課題	基盤強化促進法・農地中間管理事業推進法での貸借権設定により、担い手への集積率は前年度を上回った。
事業概要	耕作放棄地の解消、担い手への農地集積・集約化などの農地の保全・有効活用を推進						残された課題	耕作条件不利地（狭小、不整形、大型機械利用困難、耕作進入路無し、鳥獣害、山間部等）の耕作放棄地解消は困難な状況。
担当課	農業委員会	R5事業費 (千円)		12,016 千円			今後の施策展開の方向性	R7年度以降の農地貸借は関連法の改正に伴い中間管理法の農地利用等促進計画に1本化される。併せて、担い手への農地集積を具現化（地図化）する地域計画をR6年度中に策定することが義務化されたため、担い手への農地集積が重要な取り組みとなる。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
耕作放棄地の解消率	%	2.5	18.1	/	/	8.5		

事業名	菊池台地農業用施設更新事業						解決した課題	令和3年度の事業として、菊池台地のモデル地区として機能診断・保全計画策定事業が採択された。本年度は県主体で事業計画の単価スライドを行った。その中で協議を進めている。
事業概要	護川畑総、大津北部畑総事業で整備した幹線用水管の機能診断・施設保全計画に基づいた更新						残された課題	パイプライン更新のための延長がまだ残っている。また、県営畑総事業における農道のアスファルト舗装事業が追加された。引き続き建設課との協議を行っていく必要がある。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		8,666 千円			今後の施策展開の方向性	機能保全計画に基づき、令和22年度（予定）まで、更新整備を行っていく。また、一部農道の整備も並行して行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
パイプライン更新	m	0	0	700	700	8005		

事業名	矢護川地区経営体育成基盤整備事業						解決した課題	令和6年度事業変更採択予定の真木・上中地区については、法手続きを完了し、採択を待つのみとなった。令和3年より繰り越した片俣地区の計画をまとめることができた。
事業概要	県営圃場整備事業（農地中間管理機構関連農地整備事業）の実施						残された課題	下中・御願所地区の事業開始への同意や推進や未相続地の解消。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		4,300 千円			今後の施策展開の方向性	真木・上中地区については換地委員会を設立し、実施設計を行う。最短で令和6年度より工事に着手できるように動いている。また、次期地区として片俣地区の準備を進めており、令和8年度に事業着手ができるように準備を進めている。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
面工事	ha	0	0	10	10	100		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	1	農林業の振興	
施策の体系(柱)	2	多様な担い手の育成・仕組みづくり	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・農業法人設立や機能強化支援による営農体制確立 ・ICTを活用したスマート農業や作業委託等の支援 ・農業の安定的な経営を支える総合的な支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を支える人や組織等の支援による営農体制の確立及び担い手の確保と育成 ・人・農地プランや認定農業者制度を活用し、農業の安定的な経営を支える仕組みを構築する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	担い手育成総合支援事業	地域農業の担い手に対する支援や各種交付金事業	12,788	農政課	A	●
2	農業指導費（認定農業者協議会）	今後の地域農業を担う認定農業者の育成と連携を推進	75	農政課	B	●
3	農業制度資金利子補給事業	県・町・関係機関が定める要綱等に基づき貸付けされた農業制度資金に対し、各機関が行う利子補給	510	農政課	A	●
4	人・農地問題解決加速化支援事業（再掲）	地域の話合いを基本に地域の中心となる担い手を決定・育成し、農地集積による経営の大規模化・効率化を図るための「地域計画(人・農地プラン)」の策定	615	農政課	B	●
5	鳥獣害防止対策事業（再掲）	鳥獣害により農作物に被害が及ばないよう電気柵等の設置費用補助	1,870	農政課	A	
6	有害鳥獣捕獲事業（再掲）	有害鳥獣による農作物被害に対処するため、大津町有害鳥獣捕獲隊・大津町広域協定運営委員会に対する助成	2,507	農政課	A	
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	4	2	0	0	6		A
合計点数	400	150	0	0	550	91.67	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	担い手育成総合支援事業						解決した課題	新たに2名が認定新規就農者、13名が認定農業者となった。要件を満たした対象者は、各種補助事業を活用し、機械導入等に取組むことができた。また、町の特産であるかんしょを守るため、基腐病対策への補助を行った。
事業概要	地域農業の担い手に対する支援や各種交付金事業						残された課題	高齢化により認定農業者の更新をされない人が多く、地域の新たな担い手を確保することが難しい。かんしょ基腐病については、根本的な解決方法は示されておらず、消毒等の対策を見直す必要がある。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		12,788			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
農業の中心となる経営体	経営体	188	187	/	/	178		

事業名	人・農地問題解決加速化支援事業（再掲）						解決した課題	令和2年度に策定した「実質化した人・農地プラン」に基づき、人・農地プラン検討会を実施した。
事業概要	地域の話合いを基本に地域の中心となる担い手を決定・育成し、農地集積による経営の大規模化・効率化を図るための「地域計画（人・農地プラン）」の策定						残された課題	農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、令和7年3月31日までに「地域計画」を策定する必要がある。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		615			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
プラン策定地区数	地区	9	9	/	/	9		

事業名	農業制度資金利子補給事業						解決した課題	8件の申請に対して支給することができた。
事業概要	県・町・関係機関が定める要綱等に基づき貸付けされた農業制度資金に対し、各機関が行う利子補給						残された課題	新規就農者や認定農業者等が規模拡大に取り組めるように農業資金制度の周知が必要となる。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		510			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
農業の中心となる経営体	経営体	188	187	/	/	178		

事業名	農業指導費（認定農業者協議会）						解決した課題	先進地研修等の活動により、経営改善計画の目標達成に向けた取組を行うことができた。（新型コロナウイルスの影響により中止となっていた事業が再開したが、予定よりも参加者が少なかったため、275千円減額）。
事業概要	今後の地域農業を担う認定農業者の育成と連携を推進						残された課題	新型コロナウイルスの影響により、イベント等の中止が続いていたため、情報交換や研修の場を見直す必要がある。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		75			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
協議会会員数	名	122	115	/	/	130		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	1	農林業の振興	
施策の体系(柱)	3	農産物のブランド化と流通の促進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物ブランドの確立、PR・販路開拓推進 ・からいも（甘藷）の更なる付加価値創出に向けた取り組み推進 ・優良牛の導入や生産基盤拡充等の補助事業推進 ・地産地消の推進による安定した販路開拓
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド確立を通じた認知度向上と差別化による消費拡大 ・町内農業団体と連携した地産地消の推進による町農畜産物の振興と安定した販路開拓

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	経営所得安定対策推進事業	国の施策のもと、米の生産数量目標調整のため、JAと組織する「大津町農業再生協議会」の推進費補助	2,929	農政課	A	●
2	畜産振興対策事業	優良系統種牛豚導入・保留への助成 害虫駆除・畜舎消毒等、環境対策への助成	5,230	農政課	B	●
3	農業指導費（農産振興対策事業）	JA菊池の各生産部会等を活用し、流通対策、持続的農業対策等の事業効果を検証	2,200	農政課	B	●
4	畜産業費（再掲）	鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が万一発生した場合の初動防疫体制の事前整備	757	農政課	A	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	2	0	0	4		B
合計点数	200	150	0	0	350	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	畜産振興対策事業						解決した課題	素牛導入事業、乳質向上のための整備事業、イベント等を行い、畜産経営の安定化と地域ブランド化を推進することができた。また、家畜の衛生対策を進め、畜産環境の維持・改善を図った。
事業概要	優良系統種牛豚導入・保留への助成 害虫駆除・畜舎消毒等、環境対策への助成						残された課題	町農畜産物のPR・消費拡大・地産地消の推進に向け、農業関係団体の持つブランドとの協力を強化していく。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		5,230			千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
菊池管内ブランドの確立	品目	0	0	/	/	1	菊池管内ブランド牛等の確立を目指した事業の推進に向けて、関係機関との協議を図る。	

事業名	経営所得安定対策推進事業						解決した課題	大津町農業再生協議会を中心に経営所得安定対策及び産地交付金等を活用し戦略作物の生産振興及び地域農業の振興を図るため、作付け確認等現地対応を行った。
事業概要	国の施策のもと、米の生産数量目標調整のため、JAと組織する「大津町農業再生協議会」の推進費補助						残された課題	高齢化による規模縮小等により、集落営農法人への負担が大きくなってきているが、集落営農法人のオペレーター等も年々高齢化が進んでいる。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		2,929			千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
戦略作物作付面積	ha	981	1,006	/	/	950	当面は、水田活用の直接支払交付金による戦略作物を中心に取り組む方向性だが、国では見直しも検討されているため、今後も情報収集を行う。	

事業名	農業指導費（農産振興対策事業）						解決した課題	郵便局と連携した流通対策や甘藷販売促進会、甘藷品質向上栽培の研究費などの持続的農業対策事業を実施し、PR強化、消費拡大、基腐れ病の予防に努めた(コロナの影響でイベントを一部中止し、400千円減額)。
事業概要	JA菊池の各生産部会等を活用し、流通対策、持続的農業対策等の事業効果を検証						残された課題	高齢化に伴う離農や規模縮小への対策を検討する必要がある。 新たな取組みの検討。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		2,200			千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
町独自ブランドの確立	品目	0	0	/	/	1	安心・安全な農作物生産の支援と町独自ブランド確立による農家所得向上を目指す。	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	1	農林業の振興	
施策の体系(柱)	4	林業基盤の整備と適正な維持管理	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画に基づく計画的な整備や維持管理 ・木材需要の拡大支援、担い手の確保・育成 ・森林整備や林内道路などの生産基盤整備 ・森林保全に対する町民意識醸成
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の維持管理や活用のための支援等の実施による適正な森林の保全 ・森林とのふれあい・憩いの場の整備による森林の保全に対する町民の意識の醸成

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	林業総務費	町有林保全のための巡視費用、保険料、負担金	15,609	農政課	B	●
2	町有林保育事業	下刈、間伐、枝打ち、植栽等	32,231	農政課	B	●
3	私有林間伐促進事業	私有林間伐補助	1,700	農政課	A	
4	森林公園整備事業	森林公園トイレ清掃及び森林公園内道路改修等施設保全	11,035	農政課	A	●
5	林業振興費	林地台帳管理システム保守委託	271	農政課	B	
6	熊本県特定鳥獣適正管理事業	ニホンジカの捕獲、鳥獣処分手数料	89	農政課	B	
7	森林管理意向調査事業	森林管理意向調査		農政課	B	
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	5	0	0	7		B
合計点数	200	375	0	0	575	82.14	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	町有林保育事業						解決した課題	下刈や間伐等の保育事業を行うことにより森林の持つ多面的機能の維持ができた。
事業概要	下刈、間伐、枝打ち、植栽等						残された課題	戦後植林された針葉樹が適正伐期を迎えているが、木材価格の低迷のため採算がそれない状況のままである。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		32,231 千円			今後の施策展開の方向性	森林環境譲与税を活用して持続可能な森林管理を図っていく必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町森林施策計画執行率	%	100	100	/	/	100		

事業名	林業総務費						解決した課題	水源涵養や山地災害防止等、多くの公益的機能を持つ森林をみんなの財産として守り育てる意識醸成が少しずつではあるが図られている。
事業概要	町有林保全のための巡視費用、保険料、負担金						残された課題	全国的に国産材の需要が上昇しているが、林業自体の活性化につながっていない。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		15,609 千円			今後の施策展開の方向性	森林所有者の高齢化や未相続により森林環境の悪化が懸念される中、森林環境譲与税をいかに活用していくかが重要となる。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
大津町林野面積	h a	600	600	/	/	600		

事業名	森林公園整備事業						解決した課題	森林公園内の作業道の一部を整備することができた。
事業概要	森林公園トイレ清掃及び森林公園内道路改修等施設保全						残された課題	町民の公園への認知度が低い状況である。
担当課	農政課	R5事業費 (千円)		11,035 千円			今後の施策展開の方向性	森林公園を活用したイベントを開催して町民への認知度を上げていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
トイレ清掃	箇所	2	2	/	/	2		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	2	工業の振興	
施策の体系(柱)	1	企業誘致の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町のアドバンテージを生かした戦略的企業誘致 ・町内産業構造の多様化、工業活性化 ・誘致候補先企業への迅速かつ的確なプロモーションやセールス
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の推進による新たな企業進出や雇用の拡大 ・大津町の特性に応じた新たな成長分野の企業の進出の検討

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	企業誘致推進事業	企業誘致は、本町の工業振興はもとより、町発展のための大きな役割を担っている。そのために、新たな企業の誘致や、町内企業が安定して操業を行えるように側面からの支援を行っている。	116,302	企業振興課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	企業誘致推進事業						解決した課題	TSMCの進出發表以降、関連企業等の進出や立地相談が増加している。企業誘致パートナー制度により物件情報を入手しながら、企業誘致を行うことができた。
事業概要	企業誘致は、本町の工業振興はもとより、町発展のための大きな役割を担っている。そのために、新たな企業の誘致や、町内企業が安定して操業を行えるように側面からの支援を行っている。						残された課題	TSMC第2工場進出決定もあり、更なる企業進出相談が予想される。早急に企業進出の受け皿となる工業団地整備を進めていく必要がある。
担当課	企業振興課	R5事業費 (千円)		116,302			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
新規企業立地協定数 (増設含む)	件/年	4	5	/	/	4		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	2	工業の振興	
施策の体系(柱)	2	工業基盤の整備および維持管理	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 工業用水道の適切な維持管理、工業団地内インフラ環境整備推進 工場用地の確保に向けた用地の調査・分析 産業道路などの環境整備推進 必要に応じた用途指定の調整や基盤整備推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 新規工業団地の早期整備及び企業への売却 新規工業団地周辺のインフラ整備

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	工業団地整備事業	企業進出の受け皿となる工業用地を確保するため、新たに工業団地を整備する。	15,821	企業振興課	A	●
2	大津町工業用水道事業	中核工業団地内における、工業用水道の安定供給	66,990	工業用水道課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	0	0	0	2		A
合計点数	200	0	0	0	200	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	大津町工業用水道事業						解決した課題	給水開始から30年以上経過しているため、施設の老朽化が不安視されていたが、中長期的な更新計画を作成し受電設備の更新に取り組むことができた。
事業概要	中核工業団地内における、工業用水道の安定供給						残された課題	現在6社を対象にした工業用水道の安定供給のため、更新計画をもとに耐用年数が経過し老朽化した施設の更新を進める必要がある。
担当課	工業用水道課	R5事業費 (千円)		66,990			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
工業用水の水質検査項目の基準値以内数	項目	10	10	/	/	10		

事業名	工業団地整備事業						解決した課題	工業団地整備のための、基本計画策定が完了した。また、事業同意のための用地交渉にも着手した。整備等に多額の財源が必要となることから、国の都市再生整備事業において事業費確保を行うことができた。
事業概要	企業進出の受け皿となる工業用地を確保するため、新たに工業団地を整備する。						残された課題	事業同意のための用地交渉を行うが、代替地の確保に苦慮し、全ての地権者の同意を年度内に完了することができなかった。1日も早く、整備完了できるようスピードアップを図る必要がある。
担当課	企業振興課	R5事業費 (千円)		15,821			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
購入した土地面積	ha	0	0	/	/	10		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	2	工業の振興	
施策の体系(柱)	3	人材の確保	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地場企業と被雇用者を結び取り組み推進 ・Iターン、Uターン等に向けた情報発信、マッチング推進 ・若年層の情報認知や興味関心を高める周知・啓発活動
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の地元就職率、定着率の向上 ・Iターン、Uターン等による県外からの人材確保

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	雇用確保推進事業	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取り組みなどを行う。	2,899	企業振興課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		
合計点数	100	0	0	0	100	100	A

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	雇用確保推進事業						解決した課題	企業連絡協議会主催では、企業ガイダンスなどを通じて、地元就職のメリットなどをアピールできた。また、熊本県産業エキスポにも出展し、参加した高校生に対し、町のPRや企業紹介実施した。
事業概要	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取組みなどを行う。						残された課題	企業が求める人材と学生とのギャップを精査し、人材確保につなげていくために、学校や企業などと意見交換等を行いながら、更に事業展開していく必要がある。
担当課	企業振興課	R5事業費 (千円)		2,899			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内高校における町内企業就職率	%	19.3	24.6			20		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	3	商業の振興	
施策の体系(柱)	1	中心市街地の機能強化と周辺地域への誘導	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源と食のコラボレーション等の施策検討 ・肥後大津駅や周辺商業施設に車でアクセスしやすい環境整備 ・大型ショッピングモール誘致推進 ・シティブロモーションによる魅力の外部向け情報発信推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・肥後大津（阿蘇くまもと空港）駅周辺においてハード・ソフト事業を実施することによる商店街の活性化 ・町商工会や明日の観光大津を創る会、肥後おおづ観光協会などの連携による商店街の活性化や観光の振興 ・宿場町としての景観の創出により訪れる人の増加

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	商工会助成金	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。	10,000	商業観光課	B	●
2	店舗改装等利子補給事業	改装等のために融資を受けた中小企業借入金の利子を援助する。	126	商業観光課	B	
3	たばこ販売協同組合助成金	たばこ販売協同組合の活動支援をすることで、たばこ販売拡大を目指し経営の安定を図るための事業に補助を行う。	200	商業観光課	B	●
4	企業誘致推進事業（再掲）	企業誘致は、本町の工業振興はもとより、町発展のための大きな役割を担っている。そのために、新たな企業の誘致や、町内企業が安定して操業を行えるように側面からの支援を行っている。	116.302	企業振興課	A	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	3	0	0	4		
合計点数	100	225	0	0	325	81.25	B

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	商工会助成金						解決した課題	これまでの各種相談支援に加え、新型コロナウイルス関連事業についても、商工業者に寄り添った支援活動ができた。
事業概要	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。						残された課題	新規加入がある一方で脱会する商工業者もいる。また、新型コロナウイルス感染症関連の相談も多く、支援の充実を図る必要がある。
担当課	商業観光課	R5事業費 (千円)		10,000 千円			今後の施策展開の方向性	町の経済の活性化を図るには、商工業者の振興が不可欠であり、各種相談や講習会等を実施する大津町商工会へ支援を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
相談件数	件/年	1431	906	/	/	1,500		

事業名	たばこ販売協同組合助成金						解決した課題	美化活動や未成年者の喫煙防止活動等をおし、喫煙者のマナー向上につながった。
事業概要	たばこ販売協同組合の活動支援をすることで、たばこ販売拡大を目指し経営の安定を図るための事業に補助を行う。						残された課題	健康面や反喫煙により、たばこ販売は厳しい状況が続くと考えられる。
担当課	商業観光課	R5事業費 (千円)		200 千円			今後の施策展開の方向性	より良い喫煙環境を推進し、販売業者の経営安定を図るとともに、たばこ税の増収につなげる。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
たばこ税収納額	千円/年	381,361	383,285	/	/	334,000		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 B
基本施策	3	商業の振興	
施策の体系(柱)	2	地場産業の経営支援	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・人材マッチング検討、大津町商工会の機能支援 ・ITやICTを活用した事業間連携促進 ・既存事業の付加価値創出、新規ビジネス創出推進 ・地場企業への愛着等を養う周知啓発活動
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・人材マッチング検討、大津町商工会の機能支援 ・ITやICTを活用した事業間連携促進 ・既存事業の付加価値創出、新規ビジネス創出推進

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	商工会助成金（再掲）	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。	10,000	商業観光課	B	●
2	雇用確保推進事業（再掲）	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取組みなどを行う。	2,899	企業振興課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	1	0	0	2		B
合計点数	100	75	0	0	175	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	商工会助成金（再掲）						解決した課題	これまでの各種相談支援に加え、新型コロナウイルス関連事業についても、商工業者に寄り添った支援活動ができた。
事業概要	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。						残された課題	新規加入がある一方で脱会する商工業者もいる。また、新型コロナウイルス感染症関連の相談も多く、支援の充実を図る必要がある。
担当課	商業観光課	R5事業費 (千円)		10,000 千円			今後の施策展開の方向性	町の経済の活性化を図るには、商工業者の振興が不可欠であり、各種相談や講習会等を実施する大津町商工会へ支援を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
相談件数	件/年	1,431	906	/	/	1,500		

事業名	雇用確保推進事業（再掲）						解決した課題	企業連絡協議会主催では、企業ガイダンスなどを通じて、地元就職のメリットなどをアピールできた。また、熊本県産業エキスポにも出展し、参加した高校生に対し、町のPRや企業紹介実施した。
事業概要	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取組みなどを行う。						残された課題	企業が求める人材と学生とのギャップを精査し、人材確保につなげていくために、学校や企業などと意見交換等を行いながら、更に事業展開していく必要がある。
担当課	企業振興課	R5事業費 (千円)		2,899 千円			今後の施策展開の方向性	高校生の時期だけではなく、大学・専門学校等に通う学生等にも、地元企業をアピールする機会を設けるなど、継続的に事業を展開する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内高校における町内企業就職率	%	19.3	24.6	/	/	20		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	4	観光の振興	
施策の体系(柱)	1	観光資源の磨き上げおよびPR強化	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化、自然などの資源を活かした動線づくり、更なる魅力化 ・肥後大津駅周辺から町全体へ向けた賑わいづくり ・民間企業との連携、マーケティング手法活用推進、情報発信強化 ・町のファンづくりとICTを活用した広報戦略
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・肥後大津（阿蘇くまもと空港）駅周辺において、ハード・ソフト事業を実施することによる商店街の活性化 ・ふるさと寄附による町内事業者の活性化及び町外への魅力発信、関係人口の創出

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	地方創生事業	町の地方創生の方向性をまとめた「第2期大津町まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた施策・事業を進行する。	33,374	総合政策課	A	●
2	ふるさと寄附事業	ふるさと寄附を募り、寄附者に対しお礼品を送付する。また、随時新規お礼品の開拓を行う。	506,809	総合政策課	B	●
3	観光振興事業	特産品を広くPRすると共に、地域の特性を活かした観光振興により地域経済の活性化を図る。	11,625	商業観光課	B	●
4	日本一のつつじの里づくり事業	つつじ苗を自治会などに無料配布（道路沿線の公共施設に植栽）。また、花苗は団体（半額負担）に春と秋に配布して花いっぱい運動を展開している。	313	商業観光課	B	
5	地蔵祭補助金	大津町地蔵祭実行委員会の開催する大津地蔵祭の事業費に対し補助を行い、地域の活性化を図る。	4,500	商業観光課	B	
6	明日の観光大津を創る会助成金	イベントの強化や新たな観光資源の創出を図り、交流人口を増やすための事業に補助を行う。	9,000	商業観光課	B	●
7	大津町ビジターセンター管理費	ビジターセンターの施設管理運営を行う。	15,638	商業観光課	B	●
8	大津町交流センター管理費	交流センターの施設管理、運営を行い、町民の生活向上及び地域の活性化を図る。	5,196	商業観光課	B	
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	7	0	0	8		B
合計点数	100	525	0	0	625	78.13	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	ふるさと寄附事業						解決した課題	・ 町外事業者の導入により新規事業者や返礼品の開拓、増加につなげることができた。
事業概要	ふるさと寄附を募り、寄附者に対しお礼品を送付する。また、随時新規お礼品の開拓を行う。						残された課題	・ 寄附額を上げていくための取り組み ・ 返礼品や事業者の増加に伴う管理体制の整備
担当課	総合政策課	R5事業費 (千円)		506,809		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
ふるさと納税寄附額・E C販売額	千円/年	1,032,454	633,014			800,000		
								・ 返礼品取扱い数を増やす ・ 新たな分野の返礼品の開発 ・ 既存返礼品において寄附額を増額させるための施策の検討

事業名	地方創生事業						解決した課題	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を振興総合計画等評価委員会へ統合し、効率的かつ効果的に計画の推進及び評価を行うことができた。
事業概要	町の地方創生の方向性をまとめた「第2期大津町まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた施策・事業を進行する。						残された課題	・ 総合戦略に基づく具体的施策・事業の取りまとめと進行管理。 ・ 振興総合計画と総合戦略の進行管理における運動性の検討。
担当課	総合政策課	R5事業費 (千円)		33,374		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町の人口	人	35,843	35,945			36,500		
								次期計画を第7次大津町振興総合計画と併せて策定する。 企業版ふるさと納税による寄附金を財源とした事業を行う。

事業名	大津町ビジターセンター管理費						解決した課題	利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理ができた。また、問い合わせ等に対しても適切に対応できた。
事業概要	ビジターセンターの施設管理運営を行う。						残された課題	観光拠点としての活用を検討する必要がある。
担当課	商業観光課	R5事業費 (千円)		15,638		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
来館者数	人/年	54,228	80,703			60,000		
								肥後大津駅南口を観光の拠点として、今後の活用方法を検討していく。

事業名	観光振興事業						解決した課題	観光協会ホームページ、マップ、ポスターと視覚化できるものが増加し、「バイクのまち大津」と新しいコンテンツを進めていくことができた。
事業概要	特産品を広くPRすると共に、地域の特性を活かした観光振興により地域経済の活性化を図る。						残された課題	持続可能な事業展開を図るため、体験型観光の創出やスポーツコンベンションの推進、ふるさと納税返礼品の開発などを進めていく必要がある
担当課	商業観光課	R5事業費 (千円)		11,625		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
観光客入込客数	人	2,173,545	1,511,759			1,600,000		
								肥後おおづスポーツ文化コミッションと連携しながら、体験型観光の創出、スポーツコンベンションの推進など、経済効果につながる事業を展開し、地域の活性化を図る

事業名	明日の観光大津を創る会助成金						解決した課題	新型コロナウイルス感染症の収縮でつつじ祭りとからいもフェスティバルの2大イベントが実施できた。
事業概要	イベントの強化や新たな観光資源の創出を図り、交流人口を増やすための事業に補助を行う。						残された課題	会員の高齢化や減少による組織の見直しや、イベント経費の拡大による事業の見直しが必要。事務処理人員の確保が必要。
担当課	商業観光課	R5事業費 (千円)		9,000		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
観光客入込客数	人	2,173,545	1,511,759			1,600,000		
								「ふれあいの中のふるさとづくり」をもとに、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	4	観光の振興	
施策の体系(柱)	2	滞在型・体験型観光の振興	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅大津やH S R九州等の民間企業との連携・協力体制強化 ・農山村生活、伝統的な武道や文化体験、ヘルスツーリズム等の展開 ・町内目玉施設の活用強化 ・各種団体、近隣市町村との連携、より合理的な協力体制構築推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町商工会や肥後おおづ観光協会等との連携と地域おこし協力隊による地域資源の掘起しや新たな観光資源の創出 ・農業体験や自然と触れ合える体験型観光など、地域特性を活かした観光振興による交流人口（観光客）の拡大

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	観光振興事業（再掲）	特産品を広くPRすると共に、地域の特性を活かした観光振興により地域経済の活性化を図る。	11,625	商業観光課	B	
2	地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活動に対して支援を行う。	9,492	商業観光課	B	●
3	肥後おおづスポーツ文化コミッション補助金	スポーツ、文化による交流人口の増と地域経済の活性化を図るための事業を補助する。	911	商業観光課	B	●
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	3	0	0	3		B
合計点数	0	225	0	0	225	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域おこし協力隊事業						解決した課題	体験型プログラムを行い、商店街と一緒にイベントの開催ができた。
事業概要	地域おこし協力隊の活動に対して支援を行う。						残された課題	地域おこし協力隊の活動が地域と一緒にっていく必要がある。
担当課	商業観光課	R5事業費 (千円)		9,492			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
イベント開催数	回	2	4	/	/	10		

事業名	肥後おおづスポーツ文化コミッション補助金						解決した課題	町内へのスポーツ誘致活動を行いながら、ワンバクの森を開催し、スポーツやアクティビティの体験ができる事業を展開できた。
事業概要	スポーツ、文化による交流人口の増と地域経済の活性化を図るための事業を補助する。						残された課題	町内へのスポーツ誘致を実現するとともに、体験型観光商品の販売の実績を上げるとともに、商品のブラッシュアップやPRを行う必要がある。
担当課	商業観光課	R5事業費 (千円)		911			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
体験型プログラム参加者数	人	612	256	/	/	200		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	4	観光の振興	
施策の体系(柱)	3	スポーツコンベンションの推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・大型大会誘致、施設を活かしたスポーツコンベンション推進 ・スポーツ合宿やキャンプの誘致 ・農業、畜産業、商工業、宿泊業、飲食業等との連携体制構築 ・「スポーツの森駅」の新設や近隣への商業施設等誘致検討
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・大型大会誘致や施設を活かしたスポーツコンベンション推進 ・スポーツ合宿やキャンプの誘致

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	肥後おおづスポーツ文化コ ミッション補助金 (再掲)	スポーツ、文化による交流人口の増と地域経済の活性化を 図るための事業を補助する。	911	商業観光課	B	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0	1		
合計点数	0	75	0	0	75	75	B

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性		
				/	/				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性		
				/	/				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性		
				/	/				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性		
				/	/				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性		
				/	/				

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	1	健康・保健の充実	
施策の体系(柱)	1	健康づくりの推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 健康アプリを活用した健康づくり事業実施 運動の定着と民間企業と連携した健康運動事業実施 ライフステージに応じた食育指導や健康教室等推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 健康アプリを活用して健康に対する無関心層も含めた住民へのアプローチを行い、運動習慣を定着化。 (株)ルネサンスが培ってきた民間企業としてのノウハウを生かし、生活習慣としての運動の定着化と注野の拡大を推進。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	健康増進事業	がん検診や健診等における指導、住民の健康づくりに関する事業。	67,485	健康保険課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	健康増進事業						解決した課題	重症化予防で保健師等が訪問しているが、対象者のほとんどの人に指導することができた。また、健康アプリの登録者も増え、3月末に2,000人を超えた。
事業概要	がん検診や健診等における指導、住民の健康づくりに関する事業。						残された課題	特定健診結果で高血糖、高血圧、高コレステロールの人の3割が翌年の健診未受診であり、未受診者対策とその後の経過の確認が必要である。
担当課	健康保険課	R5事業費 (千円)		67,485			千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
運動習慣の割合	%	39.1	45.6			50		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	1	健康・保健の充実	
施策の体系(柱)	2	保健予防の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムに重点を置いた乳幼児健診等保健指導実施 電子申請による健診等申込体制整備 電話や訪問による保健指導等強化 生活習慣病重症化予防、生活習慣改善に向けた特定保健指導推進 各種予防接種、予防啓発活動 「こころの健康」の啓発、相談しやすい体制整備
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 菊池郡市医師会等に定期と任意の予防接種委託をすることで、住民が必要な時期にワクチンを接種できる体制を整備。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	予防接種事業	定期、任意の予防接種について、医療機関委託を行い、感染症予防のための予防接種を行う。	138,124	健康保険課	A	●
2	新型インフルエンザ対策事業	新型インフルエンザ等の発生時に迅速かつ適切な対応を行うことができるように体制を整える事業。	37	健康保険課	A	
3	食品監視活動補助金	食品衛生に関する指導等活動費に対し助成を行う。	80	健康保険課	A	
4	母子保健事業	母子保健法に基づく乳幼児健診、妊婦・乳児訪問指導等の保健事業を行い、生涯を通じて健やかな生活をおくるために、望ましい生活習慣の基盤を固めるための保健指導を行うもの。	85,652	健康保険課	A	●
5	養育医療事業	身体の発育が未熟なまま出生し入院が必要な未熟児に対し、指定医療機関で養育に必要な医療給付を行う（母子保健法第20条）	6,784	健康保険課	A	
6	新型コロナウイルスワクチン接種事業	接種希望者全員が接種ができるよう、接種券発行、相談・予約体制など接種体制整備を行う。	83,424	新型コロナウイルス感染症対策室	A	●
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	6	0	0	0	6		A
合計点数	600	0	0	0	600	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	予防接種事業						解決した課題	接種間隔ミスの接種過誤が発生したため、接種間隔をわかりやすく明記した資料を作成し、医療機関や住民に共有し、共通理解につながった。
事業概要	定期、任意の予防接種について、医療機関委託を行い、感染症予防のための予防接種を行う。						残された課題	子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップと風しん追加的対策が令和6年度で終了するため、対象者に必要な情報提供を行う必要がある。
担当課	健康保険課	R5事業費 (千円)		138,124			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
風しん患者発生(菊池保健所)	人	0	0	/	/	0		

事業名	母子保健事業						解決した課題	法定の母子保健事業に加え、令和4年度に開始した「妊娠・出産応援交付金事業」による経済的支援と伴走型支援を行うとともに、産後ケア事業を拡充し、妊娠から子育て期の継続した支援体制を整備した。
事業概要	母子保健法に基づく乳幼児健診、妊婦・乳児訪問指導等の保健事業を行い、生涯を通じて健やかな生活をおくるために、望ましい生活習慣の基盤を固めるための保健指導を行うもの。						残された課題	課題を抱える妊婦の把握のため、妊娠届出時面談・アセスメントによる要支援者把握を継続し、定期的にフォローしていく必要がある。また、将来的な生活習慣病発症予防のために、早産予防対策や保健指導を継続実施する必要がある。
担当課	健康保険課	R5事業費 (千円)		85,652			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
低出生体重児出生率	%	8.5	8.4	/	/	5		

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業						解決した課題	町内医療機関協力のもとで円滑にワクチン接種事業を行うことができ、高齢者の重症化予防につながった。
事業概要	接種希望者全員が接種ができるよう、接種券発行、相談・予約体制など接種体制整備を行う。						残された課題	特例臨時接種が終了し、令和6年度からは定期接種となる。対象者や自己負担金などがこれまでとは異なるので住民や接種医療機関に十分な説明が必要となる。
担当課	新型コロナウイルス感染症対策室	R5事業費 (千円)		83,424			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
60歳以上高齢者の感染率	%	24.4	21.7	/	/	20		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	1	健康・保健の充実	
施策の体系(柱)	3	地域医療との連携充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・菊池圏域医療機関による休日・夜間の診療体制維持 ・町民への適切な情報提供に基づく救急医療機関の適正利用推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・菊池圏域4市町で費用の一部分を負担することで、日曜や休日、夜間の診療体制を整える。 ・救急医療体制を構築することで、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる医療体制を維持。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	地域救急医療対策事業	県保健医療計画に基づき、休日・夜間の診療体制を整えることにより地域医療の充実を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる医療体制の構築を図る。	2,896	健康保険課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域救急医療対策事業						解決した課題	菊池圏域の救急指定医療機関の協力により、救急医療体制や休日の診療体制を維持することができた。
事業概要	県保健医療計画に基づき、休日・夜間の診療体制を整えることにより地域医療の充実を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる医療体制の構築を図る。						残された課題	人材不足を理由に1か所の医療機関が令和4年度以降の救急医療輪番制事業の協力を辞退されたことで、他の医療機関の負担が増えている。
担当課	健康保険課	R5事業費 (千円)		2,896			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
休日・夜間診療体制	%	100	100	/	/	100		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなく元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	1	健康・保健の充実	
施策の体系(柱)	4	健康保険制度の円滑な運営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な国民健康保険制度の運営 ・健康課題の見える化、重症化予防のための保健事業実施 ・適正な後期高齢者医療制度の運営 ・高齢者の保健事業および介護予防事業等実施 ・子ども医療費助成制度の持続的な実施に向けた適切な受診啓発推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・財政運営主体である熊本県と連携した国民健康保険の財政基盤の強化、負担の公平化、医療費適正化 ・特定健診受診率の受診率の向上、保健事業による医療費の抑制 ・後期高齢者医療保険料の収納率向上や医療費の抑制 ・熊本県後期高齢者医療広域連合や介護保険課との連携による切り目のない支援に向けた保健事業の実施 ・子ども医療の助成対象の拡大による子どもの疾病の早期治療と適正な受診に向けた啓発

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	国民健康保険特別会計繰出金（一般会計）	以下の法定負担分を一般会計から国民健康保険特別会計に繰出す。 ①保険基盤安定制度分、②事務費分、③出産育児一時金分、④財政安定化支援事業分	192,462	健康保険課	A	●
2	後期高齢者医療費事業（一般会計）	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。	471,314	健康保険課	A	●
3	子ども医療費助成事業	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。	231,807	健康保険課	A	●
4	国民健康保険税の賦課徴収事務	国民健康保険税の適正な賦課、徴収、収納管理業務	1,475	税務課	A	
5	国民健康保険特別会計事業	「国民健康保険法」に基づき、国民健康保険被保険者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。	2,858,684	健康保険課	A	●
6	国民健康保険保健事業（保健事業）	健診等の保健事業を実施することにより、国民健康保険被保険者の疾病の早期発見、早期治療を図り、健康管理に寄与すると共に医療費の抑制を図る。	38,590	健康保険課	A	
7	後期高齢者医療特別会計事業	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。	422,199	健康保険課	A	●
8	後期高齢者医療保健事業（保健事業）	後期高齢者の疾病の早期発見、早期治療を図り、健康管理に寄与すると共に医療費の抑制を目的とする。	10,287	健康保険課	A	
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	8	0	0	0	8		
合計点数	800	0	0	0	800	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	国民健康保険特別会計事業						解決した課題	法定外繰入を行わず、事業運営を行うことができた。
事業概要	「国民健康保険法」に基づき、国民健康保険被保険者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。						残された課題	国保税収入の減少や医療費の増加に伴う国保事業費納付金が増加傾向にあり、単年度収支は赤字が続いており、基金残高は44万円程度となっている。今後も財政的な負担が増加することが予想される。
担当課	健康保険課	R5事業費 (千円)		2,858,684			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり医療費	円	340,036	336,110	/	/	330,000		

事業名	後期高齢者医療費事業（一般会計）						解決した課題	高齢化の進展等により、医療費が増加傾向にあり、介護保険課と連携した高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業を実施し、継続して生活習慣病など重症化リスクの高い高齢者へ保健指導等を行った。
事業概要	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。						残された課題	団塊の世代の多くが後期高齢者となり、加入者増が見込まれるため、健康寿命の延伸や将来にわたり医療給付を提供できるよう、引き続き医療費の抑制に向けた保健事業と医療費の適正化の推進が必要。
担当課	健康保険課	R5事業費 (千円)		471,314			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり医療費	円	1,128,212	1,140,544	/	/	1,000,000		

事業名	後期高齢者医療特別会計事業						解決した課題	高齢化の進展等により、医療費が増加傾向にあり、介護保険課と連携した高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業を実施し、継続して生活習慣病など重症化リスクの高い高齢者へ保健指導等を行った。
事業概要	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。						残された課題	団塊の世代の多くが後期高齢者となり、加入者増が見込まれるため、健康寿命の延伸や将来にわたり医療給付を提供できるよう、引き続き医療費の抑制に向けた保健事業と医療費の適正化の推進が必要。
担当課	健康保険課	R5事業費 (千円)		422,199			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり医療費	円	1,128,212	1,140,544	/	/	1,000,000		

事業名	子ども医療費助成事業						解決した課題	ジェネリック医薬品の活用等子ども医療の適正受診について、広報やHP等で周知を行った。子ども医療の新規、変更手続きのオンライン申請を活用し、保護者の手続負担の軽減を図った。
事業概要	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。						残された課題	医療水準が新型コロナウイルス流行以前の医療水準に戻り、また、インフルエンザ等の感染症が流行したことにより、全体的な助成額、一人当たりの助成額ともに大幅に増額となった。
担当課	健康保険課	R5事業費 (千円)		231,807			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり助成額	円	24,979	30,698	/	/	23,750		

事業名	国民健康保険特別会計繰出金（一般会計）						解決した課題	法定外繰入を行わず、事業運営を行うことができた。
事業概要	以下の法定負担分を一般会計から国民健康保険特別会計に繰出す。 ①保険基金安定制度分、②事務費分、③出産育児一時金分、④財政安定化支援事業分						残された課題	国保税収入の減少や医療費の増加に伴う国保事業費納付金が増加傾向にあり、単年度収支は赤字が続いており、基金残高は44万円程度となっている。今後も財政的な負担が増加することが予想される。
担当課	健康保険課	R5事業費 (千円)		192,462			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
法定外繰入金	円	0	0	/	/	0		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	2	子ども・子育て支援の充実	
施策の体系(柱)	1	子育て支援の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費の無償化、多子世帯への保育料軽減の継続 多様かつ分かりやすい情報発信・サービス周知 相談窓口の機能強化、各種関係機関への適切な連携
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや妊産婦に係る各種医療費助成や保育料の軽減 子育て家庭に対する経済的支援やひとり親家庭の自立に向けた日常生活支援、就業支援及び経済的支援の充実

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	児童手当支給事業	子育て支援として、中学校修了前の児童の父母などの養育者に対して手当を支給する。	720,687	子育て支援課	A	●
2	子育て短期支援事業	子どもの養育が一時的に困難になった場合、緊急一時的に児童擁護施設等に短期入所、子どもの健全育成を図る。	0	子育て支援課	A	
3	乳幼児健康支援訪問ヘルパー事業	出産後間もないため、家事や育児が困難な核家族家庭等に対して、ヘルパーが訪問し支援を行う。	7	子育て支援課	A	
4	養育支援訪問事業	養育困難な家庭に対し、相談・支援を行う。	9	子育て支援課	B	
5	多子世帯への保育料軽減	国多子事業、県多子事業の要件に該当する場合、2人目の保育料が半額、3人目以降の保育料が無料。	0	子育て支援課	A	
6	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭等における医療費の一部を補助	7,328	福祉課	B	●
7	ひとり親家庭福祉協議会補助金	大津町ひとり親家庭福祉協議会に対し、活動経費の補助を行う。	60	健康保険課	A	
8	こども医療費助成事業(再掲)	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。	231,807	健康保険課	A	●
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	6	2	0	0	8		A
合計点数	600	150	0	0	750	93.75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	児童手当支給事業						解決した課題	R5.2月よりびったりサービスが開始され、マイナンバーカードを取得している受給者は簡単にオンライン手続きできるようになり、利用者も増加してきており利用者の負担軽減につながっている。
事業概要	子育て支援として、中学校修了前の児童の父母などの養育者に対して手当を支給する。						残された課題	びったりサービスの利用者を増やすため、引き続き、各種媒体や機械を通して、周知を図る必要がある。
担当課	子育て支援課	R5事業費 (千円)		720,687			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
電子申請利用件数	件	0	12			15		

事業名	こども医療費助成事業（再掲）						解決した課題	ジェネリック医薬品の活用等こども医療の適正受診について、広報やHP等で周知を行った。こども医療の新規、変更手続きのオンライン申請を活用し、保護者の手続負担の軽減を図った。
事業概要	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。						残された課題	医療水準が新型コロナウイルス流行以前の医療水準に戻り、また、インフルエンザ等の感染症が流行したことにより、全体的な助成額、一人当たりの助成額ともに大幅に増額となった。
担当課	健康保険課	R5事業費 (千円)		231,807			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり助成額	円	24,979	30,698			23,750		

事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業						解決した課題	ひとり親家庭の経済的負担軽減となった。また、新型コロナウイルスの影響等により家計が急変した方などをふくむ相談窓口に繋ぐなど経済面の相談にも応じている。
事業概要	ひとり親家庭等における医療費の一部を補助						残された課題	資格の申請や、医療費の還付手続きが負担となり、申請をされない世帯が多い。医療費の現物給付化等、対象者の負担感を減らしていくことが必要である。
担当課	福祉課	R5事業費 (千円)		7,328			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
支給資格率	%	92	85			98		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなく元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	2	子ども・子育て支援の充実	
施策の体系(柱)	2	保育サービスの充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 多様な保育ニーズに備える、多様なサービスの充実 医療的ケアを要する子どもや家庭を支援できる体制整備 待機児童ゼロの維持、入所率の適正化 保育人材確保に向けた就労状況・賞金等の処遇改善推進 「公立保育等再編基本方針」に基づく再編、公立認定こども園設置協議
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の負担軽減や待遇向上により保育士を確保し、保護者の多様な保育ニーズへの対応や待機児童ゼロの維持につながる。 保護者の多様な就労形態に対応した保育サービスの提供につながる。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	障害児保育事業	対象児童が入所している町内私立保育所に委託し、受け入れ保育所に保育士の加配費用等を助成、入所を促進する。	12,736	子育て支援課	A	●
2	延長保育事業	町内の保育所及び認定こども園に事業を委託し、18時から19時までの1時間の延長保育を実施。(一部の園では20時まで利用可)	5,440	子育て支援課	A	●
3	一時預かり事業	保護者の疾病やその他理由により家庭での育児が一時的に困難な場合に対応するため、保育所や認定こども園等で一時預かりを実施する。一般型と幼稚園型がある。	14,539	子育て支援課	B	●
4	施設型給付費・地域型保育給付費	国が定める保育単価に基づき、大津町の児童が入所する保育所・地域型保育事業所等に給付費を支出する。	1,673,525	子育て支援課	A	●
5	施設等利用給付費	施設等利用給付認定を受けた児童が利用する幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設利用料、新制度未移行幼稚園利用料について施設又は保護者に給付する。	11,667	子育て支援課	A	●
6	休日保育事業(大津保育園)	保護者の就労形態の多様化等により、日曜や休日における家庭での保育が困難な児童の保育を行う。	2,113	子育て支援課	A	
7	待機児童対策事業(待機児童支援助成事業補助金)	待機児童となった児童が認可外保育園に入所する場合に、認可外保育園と認可保育園の保育料の差額を助成し、保護者の負担軽減を図るとともに、待機児童の解消につなげる。	60	子育て支援課	A	
8	待機児童対策事業(保育士就職支援助成金)	町内の認可保育園等に正規職員として就職した保育士に助成金を出し、保育士の待遇向上を図り、保育士の確保につなげる。	1,550	子育て支援課	A	
9	保育補助者雇上強化事業	保育士資格を目指す保育補助者を雇い上げ、保育士の業務負担を軽減し、離職防止を図る。	18,044	子育て支援課	A	
10	保育体制強化事業	清掃業務や給食の配膳等、保育に係る周辺業務を行う保育士資格を持たない補助者を配置し、保育士の業務負担の軽減を図る	10,673	子育て支援課	A	
11	待機児童対策事業(予備保育士雇い上げ補助金)	年度後半に向かって増える保育需要に対応するため、予備保育士を雇用するための費用を助成し、年度当初に予備保育士の確保を図る。	4,998	子育て支援課	A	
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	10	1	0	0	11		
合計点数	1000	75	0	0	1075	97.73	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	施設型給付費・地域型保育給付費						解決した課題	就労等により家庭での保育が困難な児童を保育所等で保育することにより、児童の処遇の向上と児童福祉の充実を図った。
事業概要	国が定める保育単価に基づき、大津町の児童が入所する保育所・地域型保育事業所等に給付費を支出する。						残された課題	ここ10年、就学前人口は減少傾向にあるものの、保育の利用ニーズの増加に伴う受け皿確保が必要のため、引き続き待機児童解消のための保育士確保等の対策を進めていく。
担当課	子育て支援課	R5事業費 (千円)		1,673,525 千円			今後の施策展開の方向性	令和7年度からのこども計画（第3期子ども・子育て支援事業計画）の中でも受け皿整備や保育士の確保を位置づけ、保育サービスの充実、保育の質の向上を目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内保育所等入所児童数	人	1479	1477	/	/	1450		

事業名	一時預かり事業						解決した課題	一時的に家庭で保育ができない保護者のニーズに対応することができた。
事業概要	保護者の疾病やその他理由により家庭での育児が一時的に困難な場合に対応するため、保育所や認定こども園等で一時預かりを実施する。一般型と幼稚園型がある。						残された課題	今後実施予定の「こども誰でも通園制度(仮称)」と一時預かり事業(一般型)をどのように実施していくかが課題となる。
担当課	子育て支援課	R5事業費 (千円)		14,539 千円			今後の施策展開の方向性	利用者が希望する日に利用することができるよう、利用実績が少ない事業所の集約を含めた受入れ体制の再構築を検討していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用児童数	人	339	259	/	/	500		

事業名	障害児保育事業						解決した課題	障害児及び軽度障害児を受け入れてもらい、支援が必要な児童に対し適切な支援を行い、同年代の児童との集団保育を実施することができた。
事業概要	対象児童が入所している町内私立保育所に委託し、受け入れ保育所に保育士の加配費用等を助成、入所を促進する。						残された課題	対象児童が増加しており、サポートに入る職員の確保が課題となってきている。
担当課	子育て支援課	R5事業費 (千円)		12,736 千円			今後の施策展開の方向性	今後も支援が必要な児童に対し適切な支援を行い、障害のある児童への理解を深め、就学後も適切な支援ができるよう、保育園と学校の連携や情報の共有を促進していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
障害児受入数	人	24	27	/	/	16		

事業名	施設等利用給付費						解決した課題	保護者の経済的な負担を軽減するとともに、保護者の多様な働き方に応じた保育を行うことで、子育て支援を行うことができた。
事業概要	施設等利用給付認定を受けた児童が利用する幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設利用料、新制度未移行幼稚園利用料について施設又は保護者に給付する。						残された課題	施設等利用給付を受ける児童の増加に伴い給付額は増加しているが、引き続き、支給要件を満たす対象者に対し適切に給付を行う。
担当課	子育て支援課	R5事業費 (千円)		11,667 千円			今後の施策展開の方向性	今後も引き続き、無償化対象施設及び保護者への制度周知等を継続し、施設等利用費の給付事務等を円滑に行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用人数	人	1,194	1,156	/	/	1,300		

事業名	延長保育事業						解決した課題	町内の全保育園において、安心して子育てができるように仕事と子育ての両立支援に努めた。
事業概要	町内の保育所及び認定こども園に事業を委託し、18時から19時までの1時間の延長保育を実施。（一部の園では20時まで利用可）						残された課題	延長保育利用者数は増加傾向にあり、今後も継続して延長保育の需要が見込まれる。
担当課	子育て支援課	R5事業費 (千円)		5,440 千円			今後の施策展開の方向性	コロナ禍や働き方改革等を含む就労形態は多様化してきているが、保護者の延長保育に対するニーズはあるため、継続して保育所での延長保育を実施する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用児童数	人	15,011	15,153	/	/	12,800		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	2	子ども・子育て支援の充実	
施策の体系(柱)	3	子どもを安心して生み育てられる地域づくり	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・切れ目ない支援に向けた、関係機関連携強化 ・支援の地域格差解消に向けた保育園への相談窓口設置 ・地域子育て支援拠点事業の充実 ・子ども家庭総合支援拠点設置 ・「ファミリー・サポート・センター事業」の充実 ・働きながら安心して子育てできる環境の更なる充実
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の子育てと就労の両立 ・子育ての孤立感、不安感の解消

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	地域子育て支援拠点事業	育児等について相談する相手もなく密室保育により孤立感・閉塞感を募らせている親子に、気軽に集い精神的な安心感をもたらす場を提供する。	13,172	子育て支援課	A	●
2	要保護児童対策協議会事業	児童虐待の防止と早期発見、早期対応を行うため要保護(要支援)児童家庭の訪問及び個別対応支援を行う。	10,678	子育て支援課	A	●
3	ファミリー・サポート・センター事業	子どもを預けたい保護者と子どもを預かってくれる人を会員登録し、必要時に調整、育児中や仕事を持つ保護者の子育て支援を行う。	9,200	子育て支援課	A	●
4	病児・病後児保育事業	病後児保育施設で病気・病気回復期児童の預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を図る。	7,493	子育て支援課	A	●
5	放課後児童健全育成事業	保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。	186,310	子育て支援課	A	●
6	母子保健事業(再掲)	母子保健法に基づく乳幼児健診、妊婦・乳児訪問指導等の保健事業を行い、生涯を通じて健やかな生活をおくるために、望ましい生活習慣の基盤を固めるための保健指導を行うもの。	85,652	健康保険課	A	
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	6	0	0	0	6		
合計点数	600	0	0	0	600	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	放課後児童健全育成事業						解決した課題	家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや生活の指導を行うことにより、その児童の健全な育成を図るとともに、保護者が仕事と子育てを両立できるよう支援に努めた。
事業概要	保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。						残された課題	共働きの家庭が増えるなど、就労形態の多様化等により、学童保育に関するニーズは引き続き増加が予想されるため、受入枠の確保や支援員の確保と資質向上が求められる。
担当課	子育て支援課	R5事業費 (千円)	186,310				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用児童数	人	772	813			900		

事業名	地域子育て支援拠点事業						解決した課題	地域子育て支援拠点事業を2カ所で実施し、子育て親子が気軽に集える場を提供している。利用者についても年々増加傾向にある。
事業概要	育児等について相談する相手もなく密室保育により孤立感・閉塞感を募らせている親子に、気軽に集い精神的な安心感をもたらす場を提供する。						残された課題	家庭での保育を支援する場として、子育て親子が気軽に集い、語らいや相談ができ、ニーズに寄り添った場づくり、雰囲気づくりに努める。
担当課	子育て支援課	R5事業費 (千円)	13,172				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用者数	人	5,917	9,247			20,000		

事業名	要保護児童対策協議会事業						解決した課題	全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援等を行い、子どもの健やかな成長を支えていく役割である「こども家庭センター」を設置した。
事業概要	児童虐待の防止と早期発見、早期対応を行うため要保護（要支援）児童家庭の訪問及び個別対応支援を行う。						残された課題	虐待のハイリスク家庭の把握や具体的な支援に関する情報提供、個別の相談支援などのソーシャルワークを担う機能の強化が課題となっている。
担当課	子育て支援課	R5事業費 (千円)	10,678				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
新規相談件数	件	85	110			80		

事業名	ファミリー・サポート・センター事業						解決した課題	協会員が依頼会員の様々な預かりニーズに対応し、子育て中の家庭を支えることができた。
事業概要	子どもを預けたい保護者と子どもを預かってくれる人を会員登録し、必要時に調整、育児中や仕事を持つ保護者の子育て支援を行う。						残された課題	依頼会員のニーズに応えるために、協会員の確保が課題。
担当課	子育て支援課	R5事業費 (千円)	9,200				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用件数	件	1,070	864			2,000		

事業名	病児・病後児保育事業						解決した課題	病気または病後回復期の児童を預かることで、仕事と子育ての両立支援を行った。
事業概要	病後児保育施設で病気・病後回復期児童の預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を図る。						残された課題	予約や予約状況の確認をオンラインで確認できるLINE公式アカウントの周知を引き続き行う必要がある。予約がいつばいで空きがないことがある。
担当課	子育て支援課	R5事業費 (千円)	7,493				千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用者数	人	202	264			250		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	3	高齢者福祉の充実	
施策の体系(柱)	1	高齢者が活躍する場の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの新規会員数拡大・利用促進、雇用創出活性化 ・老人クラブへの新規加入者獲得や担い手確保推進 ・ボランティアやまちづくり団体等の各種コミュニティとのマッチング
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がこれまで培ってきた能力や経験を活かせる場の形成 ・高齢者が地域の助け合い活動の主体となる場の形成

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	シルバー人材センター育成事業	大津町シルバー人材センターに補助することによりシルバー人材センターの育成を行う	9,130	介護保険課	B	●
2	金婚表彰事業	熊日新聞社と共催で金婚夫婦表彰式を開催し記念品を贈呈する	454	介護保険課	A	●
3	敬老事業	100歳到達者へ敬老祝金を贈呈する	1,425	介護保険課	A	●
4	老人クラブ補助事業	単位老人クラブと老人クラブ連合会に補助することにより老人クラブの運営を支援する	1,855	介護保険課	B	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	2	0	0	4		
合計点数	200	150	0	0	350	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	シルバー人材センター育成事業						解決した課題	R5年度も継続してシルバー人材センターによる会員拡大・維持のための後押しを行うことができた。
事業概要	大津町シルバー人材センターに補助することによりシルバー人材センターの育成を行う						残された課題	さらなる会員数の増加が望まれる。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		9,130		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
会員数	人	306	295	/	/	320	シルバー人材センターと連携しながら、高齢者の生きがいがいづくりにつなげていく。	

事業名	老人クラブ補助事業						解決した課題	地域貢献活動や健康づくり活動が行われ、高齢者の介護予防を促進することができた。また、地域の重要な交流の場として活用されている。
事業概要	単位老人クラブと老人クラブ連合会に補助することにより老人クラブの運営を支援する						残された課題	単位老人クラブ団体の減少や新規クラブ加入者減少、クラブ運営の担い手不足への対応について検討する必要がある。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		1,855		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
老人クラブ加入者数	人	506	441	/	/	450	加入者数の減少の対策として、広報誌等を活用しクラブの活動状況を周知するとともに、クラブの担い手確保等について老人クラブ連合会と連携しながら検討していく。	

事業名	敬老事業						解決した課題	百歳を迎えた方に敬老祝金等を提供することができ、長寿のお祝いを行うことができた。
事業概要	100歳到達者へ敬老祝金を贈呈する						残された課題	感染症対策により面会制限がある施設の入所者への対応には配慮を要する。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		1,425		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
100歳到達者	人	12	24	/	/	-	引き続き、百歳到達者に祝金等を贈呈したことを広報に掲載し、健康志向の啓発につなげていく。	

事業名	金婚表彰事業						解決した課題	R5年度も引き続き金婚表彰式を無事に開催することができた。
事業概要	熊日新聞社と共催で金婚夫婦表彰式を開催し記念品を贈呈する						残された課題	表彰式では感染症対策に気を配る必要がある。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		454		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
金婚申込夫婦数	組	56	40	/	/	65	今後も記念式典を開催し、継続して金婚を祝福していく。	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)				千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	3	高齢者福祉の充実	
施策の体系(柱)	2	高齢者福祉サービスの充実と地域包括ケアシステムの構築	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な予防事業実施、啓発強化による健康づくりのすそ野拡大 ・地域人材の育成と活躍の場の提供支援 ・生活支援等サービスの充実、「高齢者等見守りネットワーク」の拡充 ・認知症の早期発見・早期ケア、認知症の人や介護者を支える体制整備 ・住まい・医療・介護等の地域内での一体的な提供体制推進 ・専門員の配置を含めた総合相談機能充実
想定する事業の成果	・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる「地域包括ケアシステム」の構築

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	家族介護用品支給事業	在宅で要介護者を介護する家族に対し介護用品給付券の支給を行う	2,256	介護保険課	A	
2	楽善ふれあいプラザ指定管理委託	介護予防拠点である楽善ふれあいプラザの指定管理委託における修繕費	0	介護保険課	A	
3	高齢者住宅改造助成事業	住宅の大規模な改造等が必要な高齢者に改造費用の一部を補助する	0	介護保険課	B	
4	老人保護措置委託	経済的、環境上の理由から在宅で生活することが困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置を行う	37,561	介護保険課	A	
5	高齢者外出支援サービス事業	身体の状況により運転、公共交通機関の利用、家族による移送が困難な高齢者に対して、タクシー費用の一部又は全部を助成し、生活支援を行う。	3,701	介護保険課	A	
6	保健事業と介護予防の一体的実施事業費(介護分)	健康診査・保健指導の結果に基づき抽出した対象者や健康状態不明者への訪問等による個別指導を実施し、必要な人を医療・介護サービスへ繋ぐ。	1,576	介護保険課	A	●
7	地域介護予防活動支援事業(重層的地域づくり事業)	・まごころ生活支援事業 ・地域介護予防活動支援事業委託(介護予防サポーター養成講座・介護予防サポーター地域活動育成委託)	967	介護保険課	B	
8	地域包括支援センター運営事業(重層的包括相談支援事業)	①介護予防ケアマネジメント業務②総合相談支援事業③権利擁護④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	39,375	介護保険課	B	●
9	生活支援体制整備事業(重層的地域づくり事業)	生活支援コーディネーターを中心に関係者間で組織する協議体において地域の課題やそれに係る解決策等について協議し新たな資源開発等の取り組みを作る。	9,334	介護保険課	B	●
10	大津町権利擁護推進センター事業	大津町社会福祉協議会が実施する法人後見事業への補助	9,013	介護保険課	B	
11	介護予防・生活支援サービス事業	・訪問型サービスA=高齢者ホームサポート ・通所型サービスA=介護予防はつらつ元気づくり事業 ・通所型サービスC=ほり出し健康教室	62,917	介護保険課	B	
12	一般介護予防事業	・介護予防健康事業委託・介護予防型ミニデイ事業委託・介護予防フットケア教室委託・介護予防専門職派遣事業委託・通所型介護予防事業委託(地域版)	12,858	介護保険課	B	
13	介護予防ケアマネジメント事業	・審査支払手数料・介護予防ケアマネジメント委託・総合事業財政調整負担金・介護予防ケアマネジメント負担金・要支援者、事業対象者に対して介護予防、生活支援サービスが適切に提供できるようにケアマネジメントを行う。	6,484	介護保険課	B	
14	在宅医療・介護連携推進事業(包括的推進事業 社会保障充実分)	・在宅医療担当看護師・大津町在宅医療・介護連携推進会議・多職種連携研修会講師謝礼・熊本メディカルネットワーク使用料・印刷製本(在宅医療資源マップ・わたしの思い出づくり)	2,136	介護保険課	B	●
15	認知症施策推進事業(包括支援事業 社会保障充実分)	認知症への対応について早期発見・早期ケア体制の構築。認知症推進員・認知症初期集中支援事業委託・認知症地域支援推進研修負担金	2,340	介護保険課	A	●
16	地域ケア会議推進事業	高齢者個人に対する支援の充実及びそれを支える社会基盤の整備を図る	320	介護保険課	B	
17	任意事業	②家族介護支援事業(認知症高齢者見守り事業)③その他の事業(成年後見制度利用支援事業、住宅改修支援事業助成金、認知症サポーター養成講座、介護相談員派遣事業、食の自立支援事業、ホットライン体制整備事業)	12,042	介護保険課	B	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	6	11	0	0	17	83.8	
合計点数	600	825	0	0	1425		

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域包括支援センター運営事業（重層的包括相談支援事業）						解決した課題	令和4年度から重層的包括的相談支援事業に移行し、月2回の重層的支援の窓口ミーティング参加し、月1回の重層的支援会議で情報の共有に取り組みました。
事業概要	①介護予防ケアマネジメント業務②総合相談支援事業③権利擁護④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業						残された課題	関係機関との連携体制を見直し、各専門職の業務負担の軽減を図ります。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		39,375 千円			今後の施策展開の方向性	地域住民の利便性や地域の特性を尊重しながら、身近なところで相談・支援できる拠点として「地域包括支援センター」の周知を行います。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
相談件数	件	1,494	894			2,000		

事業名	生活支援体制整備事業（重層的地域づくり事業）						解決した課題	買い物や居場所といった高齢者の困りごとの他、介護事業所の業務負担と高齢者の役割創出といった異なる課題同士を掛け合わせて解決策として取り組みました。
事業概要	生活支援コーディネーターを中心に関係者間で組織する協議体において地域の課題やそれに係る解決策等について協議し新たな資源開発等の取り組みを作る。						残された課題	高齢者の移動に関する問題解決に向け、関係機関と公共交通等の制度のすまわきを明確にし、重層的体制整備事業としての仕組みづくりの強化が必要です。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		9,334 千円			今後の施策展開の方向性	令和6年度から生活支援コーディネーターは社会福祉協議会に委託となります。介護予防に取り組み通いの場等を地域活動の拠点として住民の困りごと（地域課題）を解決できる小地域活動を推進します。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
協議体開催数	回	12	4			5		

事業名	認知症施策推進事業（包括支援事業 社会保障充実分）						解決した課題	認知症地域支援推進員や認知症疾患医療センターとの密な連携により受診やケアに繋がった。継続的な受診MCIチェックリストの活用により、早期介入に繋げることができた。
事業概要	認知症への対応について早期発見・早期ケア体制の構築。認知症推進員・認知症初期集中支援事業委託・認知症地域支援推進研修負担金						残された課題	相談や医療に繋がった時点で、認知症の中度～重症のケースが多く見られる。早期介入や予防が必要。また、受診に繋がらなかったり、中断するケースもある為に継続的な支援が必要。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		2,340 千円			今後の施策展開の方向性	地域のかかりつけ医との密な連携をとりながら、早期発見、早期ケア体制の構築を目指します。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
もの忘れ相談件数	件	18	34			32		

事業名	在宅医療・介護連携推進事業（包括的推進事業 社会保障充実分）						解決した課題	研修会において、グループワークを通して、多職種間の顔の見える関係づくりに繋げることができました。
事業概要	・在宅医療担当看護師・大津町在宅医療・介護連携推進会議・多職種連携研修会講師謝礼・熊本メディカルネットワーク使用料・印刷製本（在宅医療資源マップ・わたしの思い出づくり）						残された課題	・ICTツールの普及・啓発 ・医師会等の関係団体と連携し、医療における専門職の参加を増やします。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		2,136 千円			今後の施策展開の方向性	医療に関わる関係者が少ない状況のため、医師会や保健所等の協力を得ながら、医療側の参加者を増やし、医療・介護関係が双方の専門性や役割等への理解を深め在宅医療と介護の連携が促進されるような研修を企画し、参加を呼びかけます。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
研修実施回数	回	3	1			1		

事業名	保健事業と介護予防の一体的実施事業費（介護分）						解決した課題	令和3年度からの実施事業。令和5年度はハイリスク対象者のみ訪問を実施し、健康状態不明者へは郵便・電話でのコンタクトを行いました。ポピュレーションアプローチではインボディ測定後の栄養指導を行い、効果的な指導を実施できました。
事業概要	健康診査・保健指導の結果に基づき抽出した対象者や健康状態不明者への訪問等による個別指導を実施し、必要な人を医療・介護サービスへ繋ぐ。						残された課題	健康診査や保健指導の結果からわかる町の特徴を受診動員に活かし、健診の啓発を行います。ポピュレーションアプローチ及びハイリスク対象者への各事業を案内し、継続的にフレイル予防に努めます。健康状態不明者に対して、現在の状況を国保データベース（KDB）等を活用しながらフォローしていきます。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		1,576 千円			今後の施策展開の方向性	切れ目のない医療・介護サービスの連携、介護予防事業等を利用し、住民の健康寿命の延伸を目指します。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
ハイリスク該当者の内支援数の割合	%	94	91			81		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	3	高齢者福祉の充実	
施策の体系(柱)	3	介護保険制度の円滑な運営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型のケアマネジメント推進 ・生活の質を維持・向上させる、適正な介護保険制度運営 ・IoT導入支援、介護アシスタントの養成・施設等とのマッチング ・外国人労働者確保に向けた取り組み推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・介護給付の適正化により、利用者へ適切な介護サービスを提供することができ、不適切な給付の削減もできる ・元気な高齢者が施設等で働くことで生きがいを持つことができる

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	一般管理費	被保険者に対する各種通知や制度改正に合わせたシステム改修	5,186	介護保険課	A	
2	介護サービス等諸費、高額介護サービス等費、高額医療合算介護サービス等費、その他諸費	国民健康保険連合会に審査・支払を委託し、給付費等を介護保険施設等に支払う	2,548,132	介護保険課	A	●
3	介護給付費等費用適正化事業	国保連帳票の点検とケアプラン点検	897	介護保険課	B	●
4	認定調査等費	介護認定調査員による認定調査を行う	23,655	介護保険課	B	●
5	介護認定審査会費	菊池広域連合で認定審査会を実施するための事務	9,861	介護保険課	A	
6	介護保険住宅改修申請支援事業助成金	住宅改修理由書を作成した介護支援専門員に1件あたり2,000円を助成する	2	介護保険課	A	
7	介護保険低所得者対策事業	対象となる利用者に「社会福祉法人等利用者負担軽減確認証」を発行し、実際に軽減を行い、一定額以上に至った場合に社会福祉法人からの申請により補助する	0	介護保険課	C	
8	介護給付費準備基金積立金、第1号被保険者保険料還付金、償還金、第1号被保険者還付加算金、一般会計繰出金	基金積立、過誤納保険料の還付、決算に伴う一般会計繰出し等	121,119	介護保険課	A	
9	計画策定等委員会費	介護保険事業計画策定に関する事務と地域密着型サービス及び地域包括支援センターの運営委員会に関する事務	4,319	介護保険課	A	
10	介護保険特別会計繰出金	介護サービス等にかかる町の法定負担分、低所得者保険料軽減負担金の国県町分、介護保険運営に係る事務費等を介護保険特別会計に繰り入れる	422,623	介護保険課	A	
11	賦課徴収費	保険料の賦課徴収	1,117	介護保険課	A	
12	介護基盤緊急整備特別対策事業補助金	施設整備に係る事業者への補助金	7,841	介護保険課	A	●

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	9	2	1	0	12		A
合計点数	900	150	50	0	1100	91.67	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	介護サービス等諸費、高額介護サービス等費、高額医療合算介護サービス等費、その他諸費							解決した課題	第8期計画に基づき、介護サービスや高額介護サービス及び高額医療合算サービス等を提供できた。
事業概要	国民健康保険連合会に審査・支払を委託し、給付費等を介護保険施設等に支払う							残された課題	2040年を見据え、要介護認定者が更に増加していくため、在宅サービスの受け皿やその給付費確保（適正な保険料設定）のための分析を引き続き、実施していく必要がある。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		2,548,132			千円	今後の施策展開の方向性	地域包括ケアシステムの理念のとおり、在宅サービスの質の向上と選択肢の幅を広げることで、生涯住み慣れた地域で生活を維持していくためにも、在宅サービスの充実とニーズに応じた介護サービスを提供していく必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
在宅・居住系サービス利用率	%	81.4	85	/	/	84			

事業名	認定調査等費							解決した課題	認定調査員の研修により職員のスキルアップを図ることができた。
事業概要	介護認定調査員による認定調査を行う							残された課題	申請から30日以内に認定結果をださなければならないが、主治医意見書の受領に時間を要することや、審査会の件数制限等の理由により間に合わないケースもある。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		23,655			千円	今後の施策展開の方向性	適切かつ迅速な認定調査を行うため、引き続き認定調査員それぞれが1件当たりに係る時間を短縮できるようにスキル向上や業務改善等を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
30日以内に認定した割合	%	17.4	15.7	/	/	20			

事業名	介護基盤緊急整備特別対策事業補助金							解決した課題	繰越分として、1施設において多床室の個室化に係る改修を行った。
事業概要	施設整備に係る事業者への補助金							残された課題	
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		7,841			千円	今後の施策展開の方向性	事業所から施設整備の要望をききながら対応していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
施設の整備数	件	1	1	/	/	1			

事業名	介護給付費等費用適正化事業							解決した課題	ケアプラン点検やヒアリングを積み重ねることで、ケアプラン記載内容がより具体的なものになった。また町の助言を受け入れ、適正なケアマネジメントの実践に努めようとするケアマネジャーが以前よりも増えている。
事業概要	国保連帳票の点検とケアプラン点検							残された課題	依然として、事業所間またはケアマネジャー間で、自立支援に資する適正なケアマネジメントを作成できる資質に差がある。
担当課	介護保険課	R5事業費 (千円)		897			千円	今後の施策展開の方向性	引き続き対象件数を絞り、精査・助言を必要とする事業所やケアマネジャーを中心として点検を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
評価平均点	点	1.6	1.5	/	/	2			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
				/	/				

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	4	障がい者福祉の充実	
施策の体系(柱)	1	障がい者支援の総合的推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・緻密な実態調査に基づく次期障がい福祉計画策定 ・発達障がいの早期発見に向けた巡回相談実施 ・適切な療育へ早期につなげるための療育機関との体制整備 ・「ふくしの相談窓口」のさらなる周知と機能強化 ・各種関係機関との連携、専門職増加等による体制整備と伴走型支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉に関する啓発活動や住民同士が触れ合う場・機会づくりを設けることで地域社会が障がいのある人への理解を深める ・障がい福祉に関する情報提供や相談体制の充実・強化

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	日中一時支援事業	障がいのある人に、日中活動の場を提供し、見守りや日常的な訓練を行うことで、その家族の就労及び一時的な休息を支援する。	4,556	福祉課	B	
2	意思疎通支援事業	意志疎通を図ることに支障がある聴覚障がい者等に手話通訳、要約筆記等の方法により、意思疎通を仲介するサービス。	1,846	福祉課	A	
3	移動支援事業	屋外での移動が困難な障がい者等を対象に外出のための支援を行う。(地域生活支援事業の中の一つ)	2,133	福祉課	B	
4	相談支援事業	障がいのある方等からの相談に応じ、情報提供や必要な援助を行うことにより、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する。	19,812	福祉課	B	
5	日常生活用具事業	障がい程度に応じた日常生活用具(入浴補助用具、排泄管理支援用具等)の給付を行う。(地域生活支援事業の中の一つ)	6,171	福祉課	A	
6	補装具交付事業	身体障がいの部分を補い、生活しやすくするために必要な用具の給付・貸付・修理を行う。	8,622	福祉課	A	
7	自立支援医療費給付事業(更生医療)	障がいの軽減や回復のために必要な医療(人工透析等)に対し、医療費の一部を公費で負担する。	19,037	福祉課	A	
8	重度心身障害者医療費助成事業	重度の心身障がい者を対象に医療機関ごとに通院1,020円、入院2,040円を超えた額を助成する。	42,214	福祉課	B	●
9	障害福祉サービス事業	障がい支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。	793,683	福祉課	A	●
10	障害児通所支援事業	児童発達支援や放課後等デイサービスなどの支給量を決定する。サービス費用の一部を保護者が負担する。	493,673	福祉課	A	●
11	障害者虐待防止事業	障害者虐待防止法の規定に基づき、町虐待防止センターを設置、虐待発覚時の事実確認や措置を行う。	50	福祉課	A	
12	難聴児補聴器購入費助成事業	軽度・中度の難聴障がいがある児童に対し、補聴器の購入費の助成を行う。	0	福祉課	A	
13	自立支援医療費給付事業(育成医療)	障がいのある児童や今後障がいを残す恐れのある児童で、確実な治療効果があるものに対し、医療費の一部を給付する。	999	福祉課	A	
14	訪問入浴サービス事業	自宅での入浴が困難な障がい者に対する入浴支援。サービスの利用に応じ、事業所へ利用料を支払う。	306	福祉課	A	
15	理解促進研修・啓発事業	地域住民に対し、障がい者等に対する理解を深めるために、教室等の開催やイベント開催、広報活動を行う。	66	福祉課	B	
16	巡回支援専門員派遣事業	専門員が学校などを巡回し、職員や保護者に早期発見のための助言を行う。	7,099	福祉課	B	●
17	手話奉仕員養成研修事業	聴覚に障がいのある方への理解を深め、社会参加を促進するために手話奉仕員を養成するもの。	157	福祉課	B	

18	ペアレントプログラム事業	保護者や支援者が、子どもの行動の客観的な理解方法を学び、子育てに自信を身につける専門的な講座を開催。	540	福祉課	B	●
19	自立支援医療（精神通院）事業	精神疾患に関する通院医療費について、限度額認定を行い、負担の軽減を図る。	0	福祉課	A	
20	身体障害者相談員・知的障害者相談員設置事業	身体障害者等の福祉の増進を図るため、相談員を設置し、各種相談に応じ必要な指導及び助言を行う。	24	福祉課	B	
21	特別児童扶養手当・特別障害者手当・障害児福祉手当事業	中程度以上の障がいをもつ障がい児の養育者や、重度障がい者（児）本人に手当を支給する。	0	福祉課	A	
22	障害者福祉費総務費	支援区分認定調査員等の人件費や意見書作成手数料、審査会や自立支援協議会等に要する負担金等。	12,158	福祉課	A	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	13	9	0	0	22		B
合計点数	1300	675	0	0	1975	89.77	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	障害福祉サービス事業							解決した課題	利用者がそれぞれのサービスを利用することで、自立生活と社会生活の向上を図ることができた。決定者の約94%がサービスを利用。残りの6%はショートステイなどの緊急の際にサービスを利用されている。
事業概要	障がい支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。							残された課題	施設への入所希望に対し、待機期間が長い施設がある。また、新規のサービス利用希望者の増加に伴い、給付費が増加しており、今後もこの傾向が続く見込み。
担当課	福祉課	R5事業費(千円)		793,683			千円	今後の施策展開の方向性	対象者のニーズを確認しながら、相談支援事業所やサービス提供事業所との連携のもと、適正な支給決定を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
実利用率	%	92.1	94			100			

事業名	障害児通所支援事業							解決した課題	実利用人数は増加しており、将来自立した生活ができるよう支援を行った住民が増えた。
事業概要	児童発達支援や放課後等デイサービスなどの支給量を決定する。サービス費用の一部を保護者が負担する。							残された課題	新規の利用希望者の増加に伴い、給付費が増加しており、今後もこの傾向が続く見込み。また、放課後等デイサービスの受入が難しい状況もあるため、新規事業者数を増やし、実利用率の増加を図っていく。
担当課	福祉課	R5事業費(千円)		493,673			千円	今後の施策展開の方向性	療育事業所のみでなく、家庭、学校、園等が連携し、共通認識のもとで療育支援を提供することにより自立した生活に繋がるよう引き続き、1人1人に応じたサービス提供を実施する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
実利用率	%	97	89			100			

事業名	重度心身障害者医療費助成事業							解決した課題	給付件数は増加したが、金額は減少している。重度の障がいがある人に対し、必要な医療費を助成し、負担軽減を図った。(R3年6,900件、R4年6,836件、R5年7,156件)
事業概要	重度の心身障がい者を対象に医療機関ごとに通院1,020円、入院2,040円を超えた額を助成する。							残された課題	事務処理の過程で、医療保険に応じた高額医療や付加給付の確認作業が煩雑であり、適正な給付のため、事務処理にかなりの時間を要している。
担当課	福祉課	R5事業費(千円)		42,214			千円	今後の施策展開の方向性	受給者に対するサービス向上と事務処理の効率化のため、令和6年8月診療分から一部、現物給付を導入する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
給付率	%	100	100			100			

事業名	巡回支援専門員派遣事業							解決した課題	昨年より巡回相談回数が増え、計44カ所の園・学校等へ巡回支援及び講演会等を開催することができた。
事業概要	専門員が学校などを巡回し、職員や保護者に早期発見のための助言を行う。							残された課題	障がいの早期発見・早期対応のための助言等の支援により、療育を希望する保護者が増加しているが、医療機関等での客観的な療育の必要性を確認できる場が限られている。
担当課	福祉課	R5事業費(千円)		7,099			千円	今後の施策展開の方向性	施設に対する環境設定及び保護者や支援者(保育士や教師等)の子どもへの関わり方に対する助言を通じ、支援が必要な子どもと保護者への切れ目ない支援を継続していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
巡回相談支援回数	回	229	319			280			

事業名	ペアレントプログラム事業							解決した課題	令和5年度は、3クールの開催で、17名が修了された。修了者は、家庭内で継続して子どもの成長を支援していく意向がある。
事業概要	保護者や支援者が、子どもの行動の客観的な理解方法を学び、子育てに自信を身につける専門的な講座を開催。							残された課題	講座を実施する講師的な役割をする修了者の育成が必要。講座は少人数で行う必要があり、講師的な役割の修了者により講座を実施し、講座回数を増やす必要がある。
担当課	福祉課	R5事業費(千円)		540			千円	今後の施策展開の方向性	修了者が増加することで、家庭内及び地域での療育支援体制が整い、子どもの成長をサポートできる町になるよう、今後も継続する必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
年間修了者	人	21	17			30			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	4	障がい者福祉の充実	
施策の体系(柱)	2	自立・社会参加と地域共生社会の実現	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 多様な雇用や就労環境整備、居住環境整備の支援、啓発活動実施 生活基盤確保、就労継続支援事業充実、一般就労への移行支援 趣味や文化・学習活動等への参加の場の提供と情報発信
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 多様な雇用や就労環境整備の支援による障がいがある人の雇用の場が確保できる 障がいのある人がスポーツ、レクリエーション、文化・学習活動等に参加できる場の確保と機会が充実する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	障害者住宅改造成業	障がい者の在宅環境の改善のため、段差解消や玄関、浴室、台所等の改造成業を一部助成する	369	福祉課	A	
2	意思疎通支援事業（再掲）	意思疎通を図ることに支障がある聴覚障がい者等に手話通訳、要約筆記等の方法により、意思疎通を仲介するサービス。	1,846	福祉課	A	
3	地域活動支援センター事業	障がい者等に創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することで、障がい者等の地域生活支援の促進を図る。	4,695	福祉課	B	
4	移動支援事業（再掲）	屋外での移動が困難な障がい者等を対象に外出のための支援を行う。（地域生活支援事業の中の一つ）	2,133	福祉課	B	
5	相談支援事業（再掲）	障がいのある方等からの相談に応じ、情報提供や必要な援助を行うことにより、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する。	19,812	福祉課	B	
6	社会参加促進事業	障がい者に対して、自動車運転免許の取得・自動車の改造に要する費用の一部を助成する。（費用の2/3以内で上限10万円）	584	福祉課	A	
7	日常生活用具事業（再掲）	障がい程度に応じた日常生活用具（入浴補助用具、排泄管理支援用具等）の給付を行う。（地域生活支援事業の中の一つ）	6,171	福祉課	A	
8	補装具交付事業（再掲）	身体障がいの部分を補い、生活しやすくするために必要な用具の給付・貸付・修理を行う。	8,622	福祉課	A	
9	障害福祉サービス事業（再掲）	障がい支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。	793,683	福祉課	A	●
10	成年後見制度利用支援事業	町長が後見等開始の審判請求を行った場合に、後見人等の報酬の全部又は一部を助成する。	0	福祉課	A	
11	理解促進研修・啓発事業（再掲）	地域住民に対し、障がい者等に対する理解を深めるために、教室等の開催やイベント開催、広報活動を行う。	66	福祉課	B	
12	手話奉仕員養成研修事業（再掲）	聴覚に障がいのある方への理解を深め、社会参加を促進するために手話奉仕員を養成するもの。	157	福祉課	B	
13	障害者優先調達推進事業	国等による障害者就労支援施設等からの物品調達の推進を進める。毎年度調達方針を策定、前年度の調達実績とあわせて公表する。	0	福祉課	B	
14	身体障害者福祉会補助金	大津町身体障害者福祉会の活動に要する経費に対し補助を行う。	40	福祉課	B	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	7	7	0	0	14		
合計点数	700	525	0	0	1225	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	障害福祉サービス事業（再掲）						解決した課題	利用者がそれぞれのサービスを利用することで、自立生活と社会生活の向上を図ることができた。決定者の約94%がサービスを利用。残りの6%はショートステイなどの緊急の際にサービスを利用されている。
事業概要	障がい支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。						残された課題	施設への入所希望に対し、待機期間が長い施設がある。また、新規のサービス利用希望者の増加に伴い、給付費が増加しており、今後もこの傾向が続く見込み。
担当課	福祉課	R5事業費 (千円)		793,683			千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
実利用率	%	92.1	94	/	/	100	対象者のニーズを確認しながら、相談支援事業所やサービス提供事業所との連携のもと、適正な支給決定を行う。	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	5	地域福祉の充実	
施策の体系(柱)	1	包括的支援体制の構築	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・役場関連部局、各支援機関が連携して対応できる体制づくり ・スムーズな連携に向けたコーディネート役の資質向上、役割明確化 ・個別の相談事例分析を通じた事例別支援方法の一般施策化 ・地域に密着した各種福祉活動の活発化
想定する事業の成果	福祉関連の総合的な相談窓口整備や専門人材の強化・活用による福祉サービスの充実

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	多機関の協働による包括的支援体制構築事業	国の多機関の協働による包括的支援体制構築事業を活用し、福祉総合相談窓口（ふくしの相談窓口）を設置し、横断的な相談体制の確立を図る。	10,812	福祉課	B	●
2	地域づくり推進事業	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進する。	17,797	福祉課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2	75	
合計点数	0	150	0	0	150		

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域づくり推進事業						解決した課題	コロナ禍によりしばらく実施していなかった福祉まつりを実施した。また、重層的支援体制整備事業の中で、包括化推進会議を開催し、課題のある世帯と地域資源のマッチングを検討した。
事業概要	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進する。						残された課題	コロナ禍により、地域コミュニティの活動が停滞してきている。また、今後人口が増加する地区と、高齢化が進むと見込まれる地区があり、いずれも地域のつながりが希薄となることも考えられるため、これまで以上に地域に積極的に介入し、地域福祉を推進していく必要がある。
担当課	福祉課	R5事業費 (千円)		17,797			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
「地域福祉の充実」に対する満足度	%	21.2	19.2	/	/	40		

事業名	多機関の協働による包括的支援体制構築事業						解決した課題	本人以外の関係機関等からの相談ケースも増えてきており、関係機関からの認知度も高まっている。包括化推進会議をはじめ、包括化推進会議、重層的支援会議等を開催し、様々なケースの情報共有を行い、支援につなげることができた。(R5相談件数125件 終結件数50件)
事業概要	国の多機関の協働による包括的支援体制構築事業を活用し、福祉総合相談窓口（ふくしの相談窓口）を設置し、横断的な相談体制の確立を図る。						残された課題	相談者の課題を解決するための社会資源が十分ではなく、終結させることが困難な事例も多い。相談者に寄り添い、課題解決ができるよう、さらに社会資源の開発、関係機関との連携強化を進める必要がある。
担当課	福祉課	R5事業費 (千円)		10,812			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
相談終結割合	%	48	40	/	/	70		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	5	地域福祉の充実	
施策の体系(柱)	2	地域福祉意識の高揚	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・平時でも地域での支え合いが実現できる仕組みの共有化・改善 ・地域福祉活動を実施する地区の増加 ・地域課題を議論・解決できる体制構築に向けた地域福祉実践支援 ・災害時の避難行動、適切なケアにつながる受援・支援体制強化 ・孤立を生まない地域福祉に向けた啓発
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員等の活動支援、災害時における避難行動要支援者を地域で支える仕組みの充実等による地域主体の地域づくり体制の構築

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	災害時避難行動要支援者支援事業	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。	2,200	福祉課	B	●
2	更生保護女性会補助金	「大津町更生保護女性会」の活動に要する経費に対し補助を行う。	40	福祉課	A	
3	保護司会大津支部補助金	法務大臣より委嘱を受けた保護司で組織する「大津町保護司会大津支部」に対し、活動経費の補助を行う。	50	福祉課	A	
4	民生委員・児童委員活動補助金	大津町民生委員児童委員協議会の活動に要する経費に対し補助を行う。	4,796	福祉課	B	●
5	大津町社会福祉協議会補助金	大津町社会福祉協議会の運営に要する経費に対し補助を行う。	25,270	福祉課	B	●
6	老人福祉センター運営事業	高齢者の各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に付与する施設として設置されている大津町老人福祉センターの施設管理運営を行う。	15,557	福祉課	B	
7	災害救助費	大津町災害見舞金支給要綱に基づき、住民が風水害や火災等で被害を受けた際に見舞金を支給する。福祉避難所の運営費用を支給する。	100	福祉課	A	
8	地域づくり推進事業（再掲）	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進する。	17,797	福祉課	B	●
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	3	5	0	0	8		B
合計点数	300	375	0	0	675	84.38	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	大津町社会福祉協議会補助金						解決した課題	社協運営費を補助することにより、安定した運営基盤の確保ができ、各種事業が円滑に遂行できた。
事業概要	大津町社会福祉協議会の運営に要する経費に対し補助を行う。						残された課題	自主収入財源の増額確保が求められるが、社会福祉協議会自体が、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体のため、営利主導の大幅な収入源確保が見込めない。
担当課	福祉課	R5事業費 (千円)		25,270		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
小地域福祉活動推進地区数	箇所	18	19	/	/	27	自主財源の確保を含め、社会情勢に即した事業の見直し・検討が必要。	

事業名	地域づくり推進事業（再掲）						解決した課題	コロナ禍によりしばらく実施していなかった福祉まつりを実施した。また、重層的支援体制整備事業の中で、包括化推進会議を開催し、課題のある世帯と地域資源のマッチングを検討した。
事業概要	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進する。						残された課題	コロナ禍により、地域コミュニティの活動が停滞してきている。また、今後人口が増加する地区と、高齢化が進むと見込まれる地区があり、いずれも地域のつながりが希薄となることも考えられるため、これまで以上に地域に積極的に介入し、地域福祉を推進していく必要がある。
担当課	福祉課	R5事業費 (千円)		17,797		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
「地域福祉の充実」に対する満足度	%	21.2	19.2	/	/	40	地域共生社会に向け、住民自ら課題を解決できる体制を更に構築し、充実させていく必要がある。重層的支援体制整備事業の地域づくりを中心に、様々な課題を抱えた世帯の課題解決のため、地域資源の開発やマッチングを進めていく。	

事業名	民生委員・児童委員活動補助金						解決した課題	地域における委員による支援、見守り活動や相談活動が継続して行われており、必要に応じて関係機関へ相談、支援の繋ぎを行っている。また、福祉まつりや歳末チャリティ餅つき等の機会を通じて、民生委員活動に対する理解や地域福祉に対する意識の啓発を行った。
事業概要	大津町民生委員児童委員協議会の活動に要する経費に対し補助を行う。						残された課題	地域住民の多様化、困りごとの複雑化により、民生委員活動の困難さも増してきている。担当区域の適正件数を超えて活動している委員や、委員未選出の地区もあり、令和7年には一斉改選が行われるため、区域及び定数の見直し、民生委員活動の周知が必要である。
担当課	福祉課	R5事業費 (千円)		4,796		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
相談件数	回	1,195	962	/	/	1,600	民生委員のなり手不足解消のため、活動に対する住民の理解促進を図るとともに、担当区域の見直し等も検討していく。地域づくり等の各種事業と連携し、民生委員が活動しやすい環境を整えていく。	

事業名	災害時避難行動要支援者支援事業						解決した課題	前年度に引き続き、名簿活用フローやマニュアルを用い、各種会議等で要支援者名簿について説明し、名簿の活用や地域版防災計画の策定を推進した。
事業概要	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。						残された課題	コロナ禍以降、地域での活動が停滞気味となっている。徐々に活動が再開されてきてはいるものの、改めて、積極的に地域に向き、活動を推進していく働きかけが必要である。
担当課	福祉課	R5事業費 (千円)		2,200		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
災害時避難行動要支援者名簿記載情報の提供同意者割合	%	46.8	44.8	/	/	55	災害時に要支援者に対する地域での避難支援ができる仕組みづくりを行い、地域防災力の向上を図るため、各地域での地域版防災計画の作成、定期的な見直しなど、地域福祉活動を推進していく。	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)				千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	1	土地利用政策の推進	
施策の体系(柱)	1	計画的な土地利用の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観と調和したまちづくり推進 ・計画的な土地利用推進 ・都市計画マスタープランと大津都市計画区域マスタープランの整合 ・立地適正化計画策定
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランの作成 ・用途地域等の見直し

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	都市計画審議会	都市計画道路や公園、下水道などの都市に欠かせない施設の計画決定や変更、土地利用の制限などを審議するもの	48	都市計画課	B	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0	1		B
合計点数	0	75	0	0	75	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	都市計画審議会						解決した課題	都市計画上はもとより、地域住民・事業者視点でも配慮のある、有意義な審議を行うことができた。
事業概要	都市計画道路や公園、下水道などの都市に欠かせない施設の計画決定や変更、土地利用の制限などを審議するもの						残された課題	今後、施設の建設及び稼働等において、地域住民とのトラブルが生じないよう、注視していく必要がある。
担当課	都市計画課	R5事業費 (千円)		48			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
都市計画審議会	回	1	1	/	/	/		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	1	土地利用政策の推進	
施策の体系(柱)	2	南部・北部まちづくり計画の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・道路網や拠点等の整備検討 ・賑わいを生む町並みと動線づくり（南部） ・地域の交流拠点づくり（北部）
想定する事業の成果	町民が交流する場を創出することにより、施設の有効活用及び生きがいがづくりに寄与する。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	生涯学習施設運営費	町民のふれあい、生涯学習、文化活動、サークル活動の場とし、町民をはじめ町内外の利用者が、低料金で利用できる施設として適切な管理運営を実施する。	12,315	生涯学習課	B	●
2	観光振興事業（再掲）	地域の特性を活かした観光振興により、地域経済の活性化を図る。	11,625	商業観光課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	生涯学習施設運営費						解決した課題	応急的な修理を行い、適切な運営管理を行った。
事業概要	町民のふれあい、生涯学習、文化活動、サークル活動の場とし、町民をはじめ町内外の利用者が、低料金で利用できる施設として適切な管理運営を実施する。						残された課題	施設の老朽化が進み、修理・補修の費用が増大する可能性がある。
担当課	生涯学習課	R5事業費 (千円)		12,315 千円			今後の施策展開の方向性	安全管理を徹底するとともに、利用者ニーズを把握することで、誰もが気持ちよく利用できるような施設管理に努めていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用者数	人	21,208	27,513	/	/	23,000		

事業名	観光振興事業（再掲）						解決した課題	夜市の開催など、新たなイベントを行い、町の賑わいに寄与した。また三大祭りであるつつじ祭りも4年ぶりに開催でき、交流人口の増を図れた。
事業概要	地域の特性を活かした観光振興により、地域経済の活性化を図る。						残された課題	居住者及び宿泊者の増が見込まれる中で、急激に変化する社会情勢に対応した安定的な観光施策が必要。
担当課	商業観光課	R5事業費 (千円)		11,625 千円			今後の施策展開の方向性	肥後大津観光協会との連携を深め、町の観光施策を進めていく。町外からの交流人口が増加しているメリットを生かし、これまでの実績を基に観光振興施策を進める。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
観光客入込客数	人	2,173,545	1,511,759	/	/	1,600,000		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	1	土地利用政策の推進	
施策の体系(柱)	3	新たな活力拠点の創出	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ整備と一体となった工業団地、物流団地、宅地開発の推進 ・肥後大津駅周辺における賑わいを生む空間整備 ・空港ライナーからの誘客促進 ・スポーツの森駅（仮称）を中心とした新たなエリア開発検討
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「大空港構想Next Stage」との連携のもと、肥後大津駅周辺においてハード・ソフト事業を実施することによる駅南口及び周辺商店街の活性化

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	空港関係事業（空港ライナー関係）	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。	5,560	総合政策課	A	●
2	地方創生事業（再掲）	町の地方創生の方向性をまとめた「第2期大津町まち・ひと・しごと総合戦略」に基づいた施策・事業を進行する。	33,374	総合政策課	A	
3	工業団地整備事業（再掲）	企業進出の受け皿となる工業用地を確保するため、新たに工業団地を整備する。	15,821	企業振興課	A	
4	大津町ビジターセンター管理費（再掲）	ビジターセンターの施設管理運営を行う。	15,638	商業観光課	B	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	3	1	0	0	4		
合計点数	300	75	0	0	375	93.75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	空港関係事業（空港ライナー関係）						解決した課題	・利用者は過去最多となり、阿蘇くまもと空港およびその利用者の利便性向上に寄与している。
事業概要	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。						残された課題	・空港アクセス改善によるJR延伸に対し、空港ライナーを継続させるため、いかに空港ライナーをPRして定着させていくかが課題であり、事業者との協議も適宜実施していく。
担当課	総合政策課	R5事業費 (千円)		5,560 千円			今後の施策展開の方向性	・空港は、令和3年度から完全に民営化したため、今後は各団体と協力しながら空港ライナーの継続、PRの強化に努めていく。 ・今後も利用者の増加が見込まれるため、空港ライナーの増便等の対応も検討したい。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
空港ライナーの利用者数 /年	人	102,862	131,026	/	/	130,000		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	2	快適な住環境の確保	
施策の体系(柱)	1	公園の整備	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインによる大型複合遊具新設や休憩施設改修 さらなる魅力化と費用効率化に向けた維持・管理推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づく老朽化した公園の改修 公園施設の修繕・清掃・植栽の維持管理による公園の安全性の確保

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	町立公園等管理委託事業	公園の利用者が安全に利用できるよう、施設の修繕、清掃、植栽等の維持管理を行う。	75,342	都市計画課	A	●
2	公園施設長寿命対策支援事業	老朽化した公園施設を長寿命化計画に基づき整備する。	21,175	都市計画課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	0	0	0	2		
合計点数	200	0	0	0	200	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	町立公園等管理委託事業						解決した課題	年間を通じて計画的に公園管理を行うとともに、突発的なトイレの不具合や危険個所の修繕等を行った。
事業概要	公園の利用者が安全に利用できるよう、施設の修繕、清掃、植栽等の維持管理を行う。						残された課題	公園施設の老朽化等による管理を計画的に行う必要がある。
担当課	都市計画課	R5事業費 (千円)		75,342			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
公園に対する満足度	%/年	39.7	38.2	/	/	40		

事業名	公園施設長寿命対策支援事業						解決した課題	老朽化した休憩施設及び遊具の撤去及び新築を行った（東屋1棟、パーゴラ1棟、飛び石1式、滑り台1基）
事業概要	老朽化した公園施設を長寿命化計画に基づき整備する。						残された課題	公園施設長寿命化計画前期（5ヵ年）に基づく事業の実施と後期（5ヵ年）の実施計画を策定する必要がある。
担当課	都市計画課	R5事業費 (千円)		21,175			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
公園に対する満足度	%/年	39.7	38.2	/	/	40		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	2	快適な住環境の確保	
施策の体系(柱)	2	下水道の維持的経営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増等に伴う施設の能力強化、未整備地区の整備 ・ストックマネジメント調査、点検、改築・更新 ・経営健全化に向けた使用料の体系見直し ・農業集落排水処理施設の施設合理化検討 ・住宅用合併処理浄化槽への設置補助
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の状況に応じた公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽の整備及び維持・管理 ・下水道や農業集落排水施設等、複数の汚水処理施設が共同で利用できる施設整備の検討 ・財政状況の健全化に向けた適切な使用料の検討

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	公共下水道事業（営業費用・建設改良費）	公共下水道の事務を行うための事務費	69,131	下水道課	A	
2	公共下水道費出資金・補助金（基準内・基準外）	一般会計から公共下水道事業会計への出資金・補助金	225,719	下水道課	B	
3	公共下水道事業（事業費：管渠）	公共下水道事業により、各家庭へ下水道の整備を行い、排出される汚水の処理を行う。	125,584	下水道課	A	
4	公共下水道事業（事業費：処理場・ポンプ場）	公共下水道事業により、下水処理場及び汚水中継ポンプ場を整備し、排出される汚水の処理を行い、公共用水域の水質保全に努める。	54,486	下水道課	A	●
5	公共下水道事業（維持管理費）	下水処理場、汚水中継ポンプ場等の適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。	273,782	下水道課	A	●
6	農業集落排水事業（営業費用・建設改良費）	農業集落排水事業の事務を行うための事務費	9,243	下水道課	A	
7	農業集落排水費出資金・補助金(基準内、基準外)	一般会計からの農業集落排水事業会計への出資金・補助金	115,517	下水道課	B	
8	農業集落排水事業（維持管理費）	3地区の処理場及びマンホールポンプの適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。	33,846	下水道課	A	●
9	合併処理浄化槽設置事業	公共・農集の計画区域外及び平成28年の熊本地震により被災した公共下水道区域内で未整備地区の専用住宅について、合併処理浄化槽設置費の一部を補助する。	2,074	下水道課	A	
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	7	2	0	0	9		A
合計点数	700	150	0	0	850	94.44	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	公共下水道事業（維持管理費）						解決した課題	大津町浄化センター、汚水中継ポンプ場等の維持管理については、包括的民間委託を継続することで、臨機応変な対応が可能となり、放流水質の要求水準を遵守できた。
事業概要	下水処理場、汚水中継ポンプ場等の適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。						残された課題	流入量は人口増等による増加傾向にあり、管理費用も増加が見込まれることから、より効率的な維持管理が求められる。
担当課	下水道課	R5事業費 (千円)		273,782			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
要求水準書の放流水BOD値	mg/ℓ	12	12	/	/	12		

事業名	公共下水道事業（事業費：処理場・ポンプ場）						解決した課題	前年度完成した大津町浄化センターの水処理3系目が稼働したことで、流入量が増加する時期においても安定した運転ができ、水質汚濁防止法の規定を遵守できた。
事業概要	公共下水道事業により、下水処理場及び汚水中継ポンプ場を整備し、排出される汚水の処理を行い、公共用水域の水質保全に努める。						残された課題	供用開始後30年以上が経過し、更新対象施設が多数残る中、流入量の増加が見込まれることから、増設も必要である。
担当課	下水道課	R5事業費 (千円)		54,486			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
要求水準書の放流水BOD値	mg/ℓ	12	12	/	/	12		

事業名	農業集落排水事業（維持管理費）						解決した課題	各浄化センターにおける放流水のBOD値が、水質汚濁防止法の排水基準を遵守できた。
事業概要	3地区の処理場及びマンホールポンプの適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。						残された課題	矢護川地区を杉水地区へ接続する計画だが、杉水地区において人口増によると思われる汚水流入量の増加が見受けられる。
担当課	下水道課	R5事業費 (千円)		33,846			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
実績排水BOD値	mg/ℓ	2.1	2.8	/	/	15		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	2	快適な住環境の確保	
施策の体系(柱)	3	良質な住環境の確保	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能で良質な公営住宅運用に向けた更新の実施 ・建替、団地の統廃合、公営住宅跡地活用の検討 ・空き家の発生抑制に向けた情報提供・意識啓発 ・「空き家バンク制度」の活用、除却への支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉計画、復旧・復興計画との連携による公営住宅の検討 ・空き家・空き地調査と改善・活用の検討

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	町営住宅管理事業	町営住宅を管理・運営するために必要な業務を行う ・入退去管理 ・使用料（家賃）の収納など	2,966	都市計画課	A	
2	町営住宅修繕事業	町営住宅の修繕等を行うために必要な業務を行う	62,670	都市計画課	A	
3	あけぼの団地改修事業	外壁、屋根、電気、ガス、水道、生活排水などの補強及び改修また段差解消などユニバーサルデザインの整備を行う。	261,882	都市計画課	A	●
4	既存住宅解体事業	入居者退去後の住宅を解体・撤去し、跡地を整地する。	1,598	都市計画課	A	●
5	耐震改修補助事業	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。	2,719	都市計画課	A	●
6	地盤改良補助金事業	再建費用のうち、地盤改良等の1/2又は上限20万円の安い方を助成する。	600	都市計画課	C	
7	空家等対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大津町空き家バンク制度 ・老朽危険空家等除却促進事業補助金 ・老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3（上限50万円） 	8,307	総合政策課	A	●
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	6	0	1	0	7	92.86	A
合計点数	600	0	50	0	650		

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	あけぼの団地改修事業						解決した課題	改修の結果、住民の生活環境が向上している。
事業概要	外壁、屋根、電気、ガス、水道、生活排水などの補強及び改修また段差解消などユニバーサルデザインの整備を行う。						残された課題	5号棟改修を令和6年度に予定しており、その後は建替・集約の検討を進めていく必要がある。
担当課	都市計画課	R5事業費 (千円)		261,882		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性 長寿命化計画を基に建替・集約を進めていく。	
改修棟数	棟	1	1	/	/	3		

事業名	空家等対策事業						解決した課題	大津町空家等対策計画に基づき、空き家対策の推進を行った。
事業概要	・大津町空き家バンク制度 ・老朽危険空家等除却促進事業補助金 老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3(上限50万円)						残された課題	空き家バンクへの登録物件を増やすこと。
担当課	総合政策課	R5事業費 (千円)		8,307		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性 ・空き家バンクへの登録促進。 ・危険老朽化空家の除却促進。 ・協議会に図りながら、今後の空き家対策を検討する	
老朽危険空家等除却事業	件	2	8	/	/	5		

事業名	耐震改修補助事業						解決した課題	予定通りの広報活動、受付を行っており、補助体制は整っている。
事業概要	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。						残された課題	耐震診断を行われた住民の方で改修設計工事まで至らない方に連絡してみると工事費の額が高額や工事業者が捕まらないなどの意見が寄せられた。
担当課	都市計画課	R5事業費 (千円)		2,719		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性 申請率が上がるよう、広報活動を行っていく。	
申請件数	件	9	11	/	/	-		

4

事業名	既存住宅解体事業						解決した課題	予定通り解体工事が完了し住環境は良好な状態で維持されている。
事業概要	入居者退去後の住宅を解体・撤去し、跡地を整地する。						残された課題	残りの住宅居住者と交渉を行い、移転してもらう必要があるが、諸条件により見込みが立っていない。
担当課	都市計画課	R5事業費 (千円)		1,598		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性 移転交渉により、出来るだけ早く移転をお願いしていく。	
解体軒数	軒	2	1	/	/	2		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)				千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	3	道路・交通ネットワークの充実	
施策の体系(柱)	1	総合的な道路網の形成	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞緩和、災害時機能も企図した道路網整備 ・中九州横断道路早期事業化や国道443号4車線化の働きかけ ・阿蘇くまもと空港への新道路整備検討
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路等が早期完成することで、渋滞の緩和につながる

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	計画的な幹線道路等の整備	県道改良及びバイパス計画事業	1,950	建設課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	計画的な幹線道路等の整備						解決した課題	県道瀬田熊本線の一部改良工事を実施した。
事業概要	県道改良及びバイパス計画事業						残された課題	県道瀬田熊本線拡幅改良及び県道瀬田竜田線のバイパス化については用地交渉中。
担当課	建設課	R5事業費 (千円)		1,950			千円	今後の施策展開の方向性 熊本県に働きかけ事業推進を目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
事業進捗	%	20	25	/	/	100		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	3	道路・交通ネットワークの充実	
施策の体系(柱)	2	安全・安心な生活道路の形成	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・道路標示更新、生活道路の計画的整備 ・町中心部と南北の新設ルート検討、駅周辺への交通アクセス容易化 ・着実かつ持続可能な道路メンテナンス ・農道等の作業道整備
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・通行車両や歩行者の安全性を確保し、町民の利便性が向上する。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	道路新設事業	狭小な生活道路の拡幅や通学路の歩道整備等を行うことで町民の利便性と安全を確保する	140,044	建設課	B	
2	道路ストック事業	老朽化した橋梁、路面等の長寿命化のための整備補修及び更新	109,972	建設課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	1	0	0	2		
合計点数	100	75	0	0	175	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	道路ストック事業						解決した課題	橋梁点検24橋を実施。新井手三の橋、海老島橋の補修詳細設計完了。南出口老人ホーム線、室工業団地幹線の舗装打替工事完了。立石吐線（立石橋）橋梁補修工事実施。
事業概要	老朽化した橋梁、路面等の長寿命化のための整備補修及び更新						残された課題	健全度Ⅲの橋梁補修工事を計画的に進めたい。舗装の健全度を計測し舗装の構造を決めるFWD調査を行い道路修繕を計画的に行いたい。
担当課	建設課	R5事業費 (千円)		109,972			千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
橋梁詳細設計、工事	6	6	6	/	/	6	予算の平準化を図り、補助事業を活用して計画的に進めたい。	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	3	道路・交通ネットワークの充実	
施策の体系(柱)	3	公共交通のネットワークの構築	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の快適な生活につながる地域公共交通計画の策定 ・ 乗合タクシーの利便性向上と中心市街地を回遊する移動手段導入 ・ 公共交通の必要性や利用促進に向けたプッシュ型の情報発信 ・ 肥後大津駅を中心とした公共交通機能強化検討
想定する事業の成果	・ 交通の要衝としての重要性が増している肥後大津駅を中心とした、町内の公共交通の利便性の確保・強化

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	公共交通事業	公共交通体系の検討や地域公共交通会議の運営。路線バスへの運行補助及び乗合タクシーの運行。	70,972	総合政策課	B	●
2	空港関係事業（空港ライナー関係）（再掲）	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。	5,560	総合政策課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	1	0	0	2		
合計点数	100	75	0	0	175	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	公共交通事業						解決した課題	・まちなかバスの実証運行（令和5年10月～） ・公共交通利用者に対するニーズ調査を実施
事業概要	公共交通体系の検討や地域公共交通会議の運営。路線バスへの運行補助及び乗合タクシーの運行。						残された課題	・町中心部における公共交通の検討 ・町民意見を聴取し、公共交通の利便性を高める。
担当課	総合政策課	R5事業費 (千円)		70,972			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
乗合タクシー利用者	人/年	10,897	10,045	/	/	13,145		

事業名	空港関係事業（空港ライナー関係）（再掲）						解決した課題	・利用者は過去最多となり、阿蘇くまもと空港およびその利用者の利便性向上に寄与している。
事業概要	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。						残された課題	・空港アクセス改善によるJR延伸に対し、空港ライナーを継続させるため、いかに空港ライナーをPRして定着させていくかが課題であり、事業者との協議も適宜実施していく。
担当課	総合政策課	R5事業費 (千円)		5,560			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
空港ライナーの利用者数/年	人	102,862	131,026	/	/	130,000		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	
施策の体系(柱)	1	潤い豊かな水と緑の保全	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな水資源を守る「水源涵養機能」を保持するための森林管理 河川の水質保全に向けた水質調査、町民との情報共有 田畑への湛水事業促進、県や関係機関と連携した水量維持と水質保全
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 河川水質調査の実施や家庭用雨水浸透ますの設置による生活に身近な水と緑の充実 環境の森など、植林した広葉樹の管理等による良好な水質保全

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	家庭用雨水浸透ます設置事業	1基あたり10,000円 設置数は上限4基まで	70	環境保全課	A	●
2	家庭用雨水貯留タンク設置事業	貯留容量200%以上は1基あたり35,000円が上限。 貯留容量200%未満は見積額の1/2以内とし1基あたり24,000円が上限。	35	環境保全課	A	●
3	環境の森事業	下草刈等により管理を行う	0	環境保全課	B	●
4	水質等分析調査事業	水質調査（河川水分析10項目、飲用水分析27項目）	310	環境保全課	A	●
5	漁業振興補助金	稚魚の放流や漁場の整備を行い環境保全活動を推進する。	390	商業観光課	A	●
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	4	1	0	0	5		
合計点数	400	75	0	0	475	95	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	漁業振興補助金						解決した課題	稚魚の放流体験や河川の清掃活動等により地域住民へ環境保全への理解を促すことが出来た。
事業概要	稚魚の放流や漁場の整備を行い環境保全活動を推進する。						残された課題	自然環境が大きく変わっており、自然繁殖は困難な状況である。
担当課	商業観光課	R5事業費 (千円)		390		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
稚魚放流総量	kg	4,420	4,252	/	/	5,000		

事業名	水質等分析調査事業						解決した課題	水源地（真木、仮宿水源、日向川）の分析において、健康項目全て環境基準内であり、水源地として問題はなかった。
事業概要	水質調査（河川水分析10項目、飲用水分析27項目）						残された課題	河川の水質は、季節や状況等により基準を超える場合があり、引き続き注意していかねばならない。
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		310		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
BOD基準超過箇所	箇所	0	1	/	/	0		

事業名	家庭用雨水浸透ます設置事業						解決した課題	補助制度について、広報・町HPで周知を行い、補助金申請者に対して補助を行った。
事業概要	1基あたり10,000円 設置数は上限4基まで						残された課題	開発協議などで事業の周知をしていく必要がある。
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		70		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
設置数	基	0	7	/	/	12		

事業名	家庭用雨水貯留タンク設置事業						解決した課題	補助制度について、広報・町HPで周知を行い、補助金申請者に対して補助を行った。
事業概要	貯留容量200ℓ以上は1基あたり35,000円が上限。 貯留容量200ℓ未満は見積額の1/2以内とし1基あたり24,000円が上限。						残された課題	地下水保全に効果的な事業であるが、周知度が低いため設置が進まない状況である。
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		35		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
設置数	基	3	1	/	/	9		

事業名	環境の森事業						解決した課題	協定に基づく植林作業も順調に行われ、平成25年に植樹作業は完了している。
事業概要	下草刈等により管理を行う						残された課題	伐木適齢期までの下草刈等の管理作業
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		0		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
-	-	-	-	/	/	-		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	
施策の体系(柱)	2	ライフサイクル全体を通じた資源循環の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用ごみの排出量削減 ・ゴミ処理責任の原則や分別の徹底にかかる普及啓発 ・資源物の集団回収に対する団体への助成
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・4Rの促進、ごみの分別の徹底、生ごみの排出抑制 ・日常の生活からごみを出さない意識を高めるための啓発等の対策 ・事業者に対する処理責任の原則や分別の徹底にかかる普及啓発の推進

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	グリーンリサイクル事業	家庭等から出される剪定くずや小枝等をチップ化し、緑地等に還元する。	1,429	環境保全課	A	
2	ごみ減量化資源化事業	①再生資源集団回収団体への補助 ②生ごみ処理機購入補助 ③ごみ一時保管所整備補助 ④啓発活動（広報、ホームページ、説明会等）	3,170	環境保全課	A	●
3	ごみ収集運搬業務委託事業	家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬	101,518	環境保全課	A	●
4	し尿運搬搬手手数料補助費	補助金 10リットル⇒12円	11,164	環境保全課	A	
5	一般廃棄物処理事業	町指定ごみ袋の作成・販売 ごみカレンダー作成 ごみの分け方・出し方作成	39,538	環境保全課	A	●
6	菊池広域連合負担金（ごみ）	一般廃棄物の処理業務に対する負担金（均等割10%、利用割90%）	217,526	環境保全課	A	●
7	菊池広域連合負担金（し尿）	し尿及び浄化槽汚泥の処理業務に対する負担金	41,098	環境保全課	A	●
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	7	0	0	0	7		A
合計点数	700	0	0	0	700	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	菊池広域連合負担金（ごみ）						解決した課題	菊池広域連合（ごみ処理）に対する負担金。管内2市2町で一般廃棄物を適正に処理することが出来た。
事業概要	一般廃棄物の処理業務に対する負担金（均等割10%、利用割90%）						残された課題	
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		217,526		千円		
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
可燃ごみ量	t/年	7,817	7,583			8,418	ごみの搬入量により負担金変動することから、ごみの減量化推進を継続して実施する。	

事業名	ごみ収集運搬業務委託事業						解決した課題	家庭から排出される一般廃棄物について、業務委託により適正に収集運搬することが出来た。
事業概要	家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬						残された課題	ごみ収集車が通行、転回出来ないような場所に集合住宅や宅地が開発されているため、これまでと同じ収集形態では将来的にごみ収集が出来なくなる恐れがある。
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		101,518		千円		
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
ごみ収集運搬量	t/年	6,771	6,510			6,838	ごみ収集に関しては、必要に応じて軽トラックで収集を行うなど、場所に応じた柔軟な収集体制の構築が必要である。	

事業名	菊池広域連合負担金（し尿）						解決した課題	菊池広域連合（し尿処理）に対する負担金。管内2市2町でし尿・浄化槽汚泥を適正に処理することが出来た。
事業概要	し尿及び浄化槽汚泥の処理業務に対する負担金						残された課題	し尿汲み取り件数は減少が見込まれるが、今後も適正に処理を行っていかねばならない。
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		41,098		千円		
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
し尿・浄化槽汚泥運搬量	千kl/年	5,180	5,157			5,255	町内の下水道普及に伴い、将来的にはし尿処理の件数は減少が見込まれるが、最後の1世帯まで適切な処理がなされるよう、施策を展開していく必要がある。	

事業名	一般廃棄物処理事業						解決した課題	一般廃棄物について、町指定ごみ袋やごみカレンダーを作成し、ごみ分別や減量化を図った。
事業概要	町指定ごみ袋の作成・販売 ごみカレンダー作成 ごみの分け方・出し方作成						残された課題	ごみ処理費用は年々増えているため、ごみ分別を徹底しコスト削減を図る。
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		39,538		千円		
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
年間ごみ量	t/年	8,872	8,580			9,645	外国人や町外からの転入者増加に伴い、文化やごみ分別方法の違いから、適切なごみ分別がなされず、ごみ一時保管所にごみが残ってしまう事例が増えているため、今後はごみの分別についてより一層の啓発を図る必要がある。	

事業名	ごみ減量化資源化事業						解決した課題	ごみ減量化機器の普及推進により、一人あたりの年間ごみ排出量の削減へ繋げることが出来た。
事業概要	①再生資源集団回収団体への補助 ②生ごみ処理機購入補助 ③ごみ一時保管所整備補助 ④啓発活動（広報、ホームページ、説明会等）						残された課題	一人あたりの年間ごみ排出量は減少しているが、全体のごみ処理費用は年々増えているため、引き続きごみ減量化の推進が必要。
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		3,170		千円		
目標指標（KPI）	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
一人当たり年間ごみ排出量	kg/年	199	191			192	再生資源集団回収助成金制度は、町内全域で活動を行って頂くことで、町全体でごみの減量化へ繋がるという点があるため、団体の新規開拓という観点からも、活動におけるメリット（美化意識の向上や、ごみを減量化したうえでなおかつ活動資金も貰えるといった点など）を全面的にアピールし、今後も活動団体を増やしていきたい。	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	
施策の体系(柱)	3	生活環境の向上	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で取り組む美化作業等推進 ・狂犬病予防接種徹底、犬や猫等の飼い主マナー向上等啓発 ・公害防止や不法投棄撲滅に向けた、美化活動やモラル向上啓発
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で取り組む美化活動の推進とそれによるコミュニケーションの場づくりと環境改善意識の強化 ・環境保全協定の締結と遵守による環境に配慮した事業活動の実施

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	スズメバチ駆除事業	住宅地等の危険個所で、住民からスズメバチ駆除の相談があった場合、専門業者に駆除を依頼する。	1,400	環境保全課	A	●
2	狂犬病予防事業	①未接種の方へ個別注射通知(2回) ②避妊及び去勢手術費用の2分の1を補助(上限1万円)	1,158	環境保全課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	0	0	0	2		A
合計点数	200	0	0	0	200	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	スズメバチ駆除事業						解決した課題	スズメバチの駆除について、迅速に対応することができ、大きな事故は発生しなかった。
事業概要	住宅地等の危険個所で、住民からスズメバチ駆除の相談があった場合、専門業者に駆除を依頼する。						残された課題	ハチの種類に関係なく連絡が入るため、対応時に、特徴の確認などを行い対応を行っている。
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		1,400			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
3日以内の対応率	%	100	100	/	/	100		

事業名	狂犬病予防事業						解決した課題	狂犬病ワクチン集合注射の実施や、狂犬病ワクチン注射の周知を行い、前年以上の予防接種率を確保できた。
事業概要	①未接種の方へ個別注射通知(2回) ②避妊及び去勢手術費用の2分の1を補助(上限1万円)						残された課題	未登録の犬や狂犬病予防注射を受けていない飼い主への啓発を引き続き行う必要がある。
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		1,158			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
予防注射接種率	%	79.5	79.6	/	/	100		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 A
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	
施策の体系(柱)	4	温暖化対策の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー設備普及 町内公共設備の省エネルギー製品導入推進 メガソーラー設置における災害防止、情報共有、環境リスク抑制
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギー活動の啓発 環境情報の提供や環境学習の推進により環境に配慮したライフスタイルの展開

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	再生可能エネルギー等推進事業	再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギー活動の啓発	442	環境保全課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	再生可能エネルギー等推進事業						解決した課題	【大津町太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理等に関する条例】を令和5年3月議会において議決、令和5年7月1日から施行した。同年5月、8月に連絡協議会を開催し、太陽光事業者、地域住民、役場関係課が一同に集う顔の見える関係づくりを行った。
事業概要	再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギー活動の啓発						残された課題	条例施行に伴う効果の検証を継続して行っていく。
担当課	環境保全課	R5事業費 (千円)		442			千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
-	-	-	-	/	/	-	条例に基づき、住民の安心安全な生活環境を守ったうえで、再生可能エネルギーの普及を目指す。	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	5	交通安全・防犯対策の強化	
施策の体系(柱)	1	地域防犯地策の強化	
			B

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪や事故に関する積極的な情報収集・提供 ・町内全域街灯・防犯灯のLED化 ・防犯教育や啓発活動、防犯パトロールによる地域防犯力強化
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・警察や関係団体との連携による地域防犯の取り組みを強化、活動支援、町民一人ひとりの防犯意識の高揚による安全性の向上 ・防犯灯の設置、地域ぐるみの防犯パトロールの継続による安全で住みよい地域づくり

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	防犯対策事業	防犯パトロール業務委託、防犯カメラ設置事業	7,255	防災交通課	B	●
2	防犯灯・街灯設置事業	防犯灯・街灯電気代、防犯灯・街灯設置	14,586	防災交通課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	防犯灯・街灯設置事業						解決した課題	防犯灯の設置要望に対応し、防犯灯の新設を実施。また、街灯設置補助金による地域内の街灯新設を実施。
事業概要	防犯灯・街灯電気代、防犯灯・街灯設置						残された課題	都市開発が進み、既存の行政区域外への住宅新設により、街灯が設置されていない地域がある。また、新興住宅地から、通学、通勤する際、今までは交通量が少なく、防犯灯の設置されていない道を通る場合がある。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		14,586			今後の施策展開の方向性	防犯灯・街灯の維持管理を継続するとともに、住宅新設時には、開発事業者と連携して街灯の新設を推進する。地域内に照明を確保することで防犯対策につなげる。また、新興住宅地から通勤、通学する際通る機会が増えた道路について、必要があれば防犯灯の新設を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の犯罪発生件数 (街頭犯罪・侵入犯罪等重点罪種の認知件数)	件	37	65	/	/	30		

事業名	防犯対策事業						解決した課題	小・中学生の登下校時に町内全域の防犯パトロールを実施。また、警察・防犯協会との協定に基づき防犯カメラの設置補助を実施。
事業概要	防犯パトロール業務委託、防犯カメラ設置事業						残された課題	犯罪件数が増加している状況から、防犯パトロールの強化及び防犯カメラ設置等の更なる防犯対策が必要。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		7,255			今後の施策展開の方向性	防犯パトロールや地域と連携した防犯対策の実施。警察、防犯協会と連携して防犯カメラの継続的設置することにより防犯上の死角を除去する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の犯罪発生件数 (街頭犯罪・侵入犯罪等重点罪種の認知件数)	件	37	65	/	/	30		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	5	交通安全・防犯対策の強化	
施策の体系(柱)	2	交通安全対策の推進	
			B

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・全国交通安全運動への参加等交通安全施策推進 ・高齢ドライバーへの安全運転啓発、安心して免許返納できる環境整備 ・町内道路危険個所の総点検、維持・充実化 ・町民全体への交通安全教育や啓発の徹底
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・警察、交通安全協会、学校及び地域等との連携による、園児から高齢者まで対象に応じた交通安全教育や啓発活動の実施による安全意識の向上と安全性の確保 ・交通事故を防止するため、街路灯、カーブミラーの維持・整備を実施による安全な交通環境の確保 ・運転免許証を自主的に返納した高齢者に対する支援サービスの充実による高齢者による交通事故の抑制

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	交通安全施設整備	カーブミラー設置や区画線等の設置及び修理	12,646	防災交通課	B	●
2	交通安全教育、啓発事業	交通安全教室の開催、啓発活動	6,509	防災交通課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		
合計点数	0	150	0	0	150	75	B

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	交通安全施設整備						解決した課題	交通安全運動をはじめとする啓発活動と学年に応じた交通安全教室を推進し交通事故防止に努めた。
事業概要	カーブミラー設置や区画線等の設置及び修理						残された課題	交通事故発生件数は前年に比べ減少したが、継続した交通安全啓発が必要。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		12,646 千円			今後の施策展開の方向性	小中学生は基より高齢者に対して継続した交通安全啓発運動の推進及び強化していく。また、高齢者の免許返納事業を推進する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の交通事故発生件数 (人身交通事故数)	件	93 0	75 0	/	/	50 0		
町内の交通事故死者数	件							

事業名	交通安全教育、啓発事業						解決した課題	老朽化したカーブミラーの修繕や設置及び交通安全プログラムや要望への対応等により、カーブミラー舗装をはじめとする区画線の設置、引き直し等により事故防止に努めた。
事業概要	交通安全教室の開催、啓発活動						残された課題	要望以外の老朽化したカーブミラー及び通学路以外の区画線等についても継続した更新が必要である。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		6,509 千円			今後の施策展開の方向性	区長や交通委員からの継続した情報収集や要望により、優先順位に基づいた新設及び修繕を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の交通事故発生件数 (人身交通事故数)	件	93 0	75 0	/	/	50 0		
町内の交通事故死者数	件							

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	5	交通安全・防犯対策の強化	
施策の体系(柱)	3	消費生活の安全強化	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 消費トラブルの発生情報発信、注意喚起、啓発 相談できる体制づくり、消費生活相談窓口設置推進 住民同士の声掛けや相談しあえる環境整備
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 町民自らが消費トラブルから身を守り、安心して生活する消費者となるよう支援する 消費トラブルに巻き込まれた町民に対して、的確に対応できる相談体制を整備する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	消費生活相談業務	消費生活相談窓口を週2回設置し、消費トラブルに巻き込まれた町民からの相談に対応するとともに、出前講座を開催し、消費トラブル防止の啓発を行う。	1,732	総務課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	消費生活相談業務						解決した課題	消費生活相談窓口の広域化を行うことにより多くの相談に対応することができた。
事業概要	消費生活相談窓口を週2回設置し、消費トラブルに巻き込まれた町民からの相談に対応するとともに、出前講座を開催し、消費トラブル防止の啓発を行う。						残された課題	デジタル化が進む昨今、SNS関連の犯罪等も増加し、消費者トラブルは更に多岐にわたるため、様々な予防策を講じる必要がある。
担当課	総務課	R5事業費 (千円)		1,732			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
消費生活相談件数	件	85	90	/	/	75		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	1	危機管理体制の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での実践的な住民参加型防災訓練実施 ・民間事業者との「災害時応援協定」締結 ・「避難行動要支援者」の把握と支援体制強化
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・職員や町民一人ひとりの判断力と行動力を養い、地域による避難行動・安否確認・避難所運営を実施 ・「災害時応援協定」による災害時の効果的な連携・支援を実施 ・災害発生時に自力での避難が困難な人を支援するため、避難行動要支援者の把握と個別避難計画の作成

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	災害対策事業	防災訓練実行委員会が中心となった住民参加型防災訓練の実施。(防災訓練実行委員会負担金) 災害時応援協定の締結推進	1,000	防災交通課	B	●
2	災害時避難行動要支援者支援事業	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。	2,200	福祉課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2	75	B
合計点数	0	150	0	0	150		

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	災害時避難行動要支援者支援事業						解決した課題	前年度に引き続き、名簿活用フローやマニュアルを用い、各種会議等で要支援者名簿について説明し、名簿の活用や地域版防災計画の策定を推進した。
事業概要	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。						残された課題	コロナ禍以降、地域での活動が停滞気味となっている。徐々に活動が再開されてきてはいるものの、改めて、積極的に地域に出向き、活動を推進していく働きかけが必要である。
担当課	福祉課	R5事業費 (千円)		2,200			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
災害時避難行動要支援者名簿記載情報の提供同意者割合	%	46.8	44.8	/	/	55		

事業名	災害対策事業						解決した課題	町内8箇所の避難所における住民参加型防災訓練を実施し、地域住民における避難所運営の第1ステップを実施してイメージづくりを行った。また、災害時応援協定を企業等と締結することができた。
事業概要	防災訓練実行委員会が中心となった住民参加型防災訓練の実施。(防災訓練実行委員会負担金)災害時応援協定の締結推進						残された課題	避難所運営を地域が主体となって実施するためには、更に地域の理解を得ながら訓練を実施する必要がある。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		1,000			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
災害時応援協定締結数	件	24	25	/	/	25		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	2	災害への対応力強化	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町内危険個所の正確な把握と計画的・段階的な改善 ・平時からの啓発。迅速な情報提供、防災行政無線難聴地域解消 ・各種システムなどを活用した災害時対応力強化 ・災害時の迅速な避難所開設、避難所の安全性や環境向上
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ハザードマップの作成・配布・周知の実施による住民自らの防災意識向上を図る ・防災行政無線及び公式LINE等を活用し、多くの住民に情報提供を実施 ・北部、中部、南部の地域の避難・応急対策活動を支えるための防災拠点の配置や地域に応じた機能の整備 ・避難所における生活環境確保、備蓄食料のほか生活関連物資や避難所運営資機材の計画的な更新・整備

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	防災基盤整備事業	防災行政無線の新設及び新型スピーカー改修を実施	39,099	防災交通課	B	●
2	災害対策事業	備蓄食料購入等、災害対策の全般における事業を実施。	15,308	防災交通課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	防災基盤整備事業						解決した課題	防災行政無線が聞こえにくい地域に対し、防災行政無線の新設やスピーカー改修を行い、改善を図った。
事業概要	防災行政無線の新設及び新型スピーカー改修を実施						残された課題	更に防災行政無線が聞こえにくい地域への対応。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		39,099			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	防災行政無線の聞こえにくい地域へ防災行政無線のスピーカー増設等を実施。	

事業名	災害対策事業						解決した課題	地域住民の防災意識の向上。
事業概要	備蓄食料購入等、災害対策の全般における事業を実施。						残された課題	ハザードマップを活用し、住民一人一人の更なる防災意識の向上が必要。また、災害に備えて、更に必要な備蓄品等を整備する必要がある。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		15,308			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	ハザードマップを活用し、住民一人一人の避難計画を呼びかける「マイタイムライン」の普及を図る。備蓄計画に基づき、必要な備蓄品等を整備する	
備蓄食料の確保	食	48,000	60,000			60,000		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	3	災害に強い都市構造	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断・耐震化推進、老朽空き家の調査・対策推進 雨水排水施設整備、豪雨を見越した防災・減災機能強化
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 大地震に備え、安心して住み続けられる「すまい」の確保をはかる。 局地的豪雨に耐える地域の整備

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	耐震改修補助事業（再掲）	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。	2,719	都市計画課	A	●
2	ブロック塀撤去補助金	危険ブロック塀の撤去費の2/3又は上限20万円を助成する	600	都市計画課	A	
3	緊急自然災害防止対策事業	県の急傾斜地指定を受けた斜面を安定勾配での切土法面処理等を行い、住民の安全を確保する	45,475	建設課	A	●
4	防災・減災対策等強化事業	集中豪雨により一時的ではあるが、冠水などの影響を受ける地域の排水対策として調整池や水路整備等を行う	66,103	建設課	A	
5	空家等対策事業（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> 大津町空き家バンク制度 老朽危険空家等除却促進事業補助機 老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3（上限50万円） 	8,307	総合政策課	A	●
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	5	0	0	0	5		A
合計点数	500	0	0	0	500	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	緊急自然災害防止対策事業						解決した課題	後迫地区の用地測量が完了した。また、大津地区（2工区）の工事が完了した。
事業概要	県の急傾斜地指定を受けた斜面を安定勾配での切土法面処理等を行い、住民の安全を確保する						残された課題	令和6年度に東道免地区、大津地区（1工区）、後迫地区の工事完了を目指す。大津地区において一部区間が起債事業対象外となるため、何らかの財源確保が必要。
担当課	建設課	R5事業費 (千円)		45,475			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
急傾斜対策設計・工事	箇所	3	3	/	/	3		

事業名	空家等対策事業（再掲）						解決した課題	大津町空家等対策計画に基づき、空き家対策の推進を行った。
事業概要	・大津町空き家バンク制度 ・老朽危険空家等除却促進事業補助機 老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3（上限50万円）						残された課題	空き家バンクへの登録物件を増やすこと。
担当課	総合政策課	R5事業費 (千円)		8,307			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
老朽危険空家等除却事業	件	2	8	/	/	5		

事業名	耐震改修補助事業（再掲）						解決した課題	予定通りの広報活動、受付を行っており、補助体制は整っている。
事業概要	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。						残された課題	耐震診断を行われた住民の方で改修設計工事まで至らない方に連絡してみると工事費の額が高額や工事業者が捕まらないなどの意見が寄せられた。
担当課	都市計画課	R5事業費 (千円)		2,719			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
申請件数	件	9	11	/	/	-		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	4	消防・救急の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・消防と救急救命体制の充実 ・消防施設の適切な維持管理、機能の充実・強化 ・消防団の負担軽減と団員確保支援、消防力維持向上の体制整備
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・菊池広域連合消防本部の救急救命体制の充実 ・火災予防対策の消防施設の維持管理、機器の更新による火災の防止・被害の軽減 ・消防団活動が充実し、新規入団希望者の増加。 ・消防団を中心とした関係団体との連携や人材育成による地域消防力の向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	常備消防費	菊池広域連合消防本部負担金	353,175	防災交通課	A	●
2	非常備消防費	消防団員報酬等の支給（R4から個人支給） 地域の分団等の活動費として交付金を交付 新たな活動服の導入	58,691	防災交通課	B	●
3	消防施設整備事業	消防団の所有する機材の維持管理、更新 防災行政無線の維持管理 消防防災施設の維持管理	28,611	防災交通課	B	●
4	防災基盤整備事業	消防車両、小型ポンプ更新、防火水槽の設置	23,254	防災交通課	A	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	2	2	0	0	4		B
合計点数	200	150	0	0	350	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	常備消防費						解決した課題	地域住民の安全安心なまちづくりの推進が図れた。
事業概要	菊池広域連合消防本部負担金						残された課題	菊池広域連合消防本部と行政及び消防団が更に連携できる体制の構築が必要。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		353,175			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	緊急情報を送受するシステムの向上を図る。消防団と連携した訓練を実施する。	
建物火災件数	件	3	6	/	/	0		

事業名	非常備消防費						解決した課題	消防団が地域と連携し、防災力向上のために、重要な役割を果たすことができた。また、新たな活動服を導入し、視認性の向上と難燃素材により、より安全に現場活動を行うことができたようになった。
事業概要	消防団員報酬等の支給 (R4 から個人支給) 地域の分団等の活動費として交付金を交付 新たな活動服の導入						残された課題	消防団員の確保。機能別消防団員制度の導入。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		58,691			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	消防団員加入の推進・広報。消防団員定数の検討及び機能別消防団員制度の導入。	
機能別消防団員制度の導入	—	未実施	未実施	/	/	実施		

事業名	消防施設整備事業						解決した課題	消防施設の (消火栓 1 基) 及び修繕や老朽化した消防水利の撤去を行い、充実強化を行った。
事業概要	消防団の所有する機材の維持管理、更新 防災行政無線の維持管理 消防防災施設の維持管理						残された課題	老朽化した施設及び資機材の更新。消防水利の適切な管理、老朽箇所の修繕又は撤去。防災行政無線の維持管理や避雷対策。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		28,611			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	消防施設の計画的な更新を実施。消防水利の一斉点検・老朽箇所の整理。防災行政無線に避雷対策を実施。消防団の装備品の充実 (チェーンソー・防護服・投光器等の配備)	
建物火災全焼件数	件	1	1	/	/	0		

事業名	防災基盤整備事業						解決した課題	消防積載車及び小型動力ポンプの購入により地域の消防力向上につながった。防火水槽を1基設置することで、地域の消防水利の確保につながった。
事業概要	消防車両、小型ポンプ更新、防火水槽の設置						残された課題	消防設備の計画的な更新。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		23,254			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	消防積載車及び小型動力ポンプは計画的な更新を行う。	
建物火災全焼件数	件	1	1	/	/	0		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	5	地域防災力の向上	
			B

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	・「自主防災組織」設立・機能強化、地域防災リーダー育成の取組支援
想定する事業の成果	・防災指導員や防災士連絡協議会との連携による、各地域の「自主防災組織」の立ち上げや地域防災リーダーの人材育成 ・日常における地域のつながりが災害時の円滑な活動、避難支援等に結ばれることから、地域ごとの避難訓練や福祉・教育等と連携した地域のつながりを形成する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	災害対策事業	自主防災組織への活動支援補助金、防災士連絡協議会の運営補助。新たな防災士を養成するための講座の実施。	5,182	防災交通課	B	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0	1		B
合計点数	0	75	0	0	75	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	災害対策事業						解決した課題	地域住民の防災意識の向上。新たな防災士の養成。
事業概要	自主防災組織への活動支援補助金、防災士連絡協議会の運営補助。新たな防災士を養成するための講座の実施。						残された課題	自主防災組織未設立の地域に対し、自主防災組織による「共助」の仕組みを推進することが必要。地区防災計画の普及とハザードマップ更新における更なる避難対策。
担当課	防災交通課	R5事業費 (千円)		5,182			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
自主防災組織率 自主防災組織防災訓練実施率	% %	69 88	70 91	/	/	80 75		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」“つながり”と“安心”の持てるまち	施策評価
基本施策	1	まちづくり参画と行政との連携	
施策の体系(柱)	1	町民と行政の連携推進に向けた情報発信	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの積極的な情報公開、事業過程の「見える化」推進 ・多様な媒体・手法による分かりやすい情報発信、まちづくり参加促進策 ・町民の声を生かすための取組実施、内容・発信の改善 ・課題解決や新たな価値創出に向けた協定の締結拡大 ・各種協議会などへの「当事者」選出推進 ・町議会でのICTを活用した議事進行、議会の見える化、充実・効率化 ・町民と議会が認識共有のための情報発信や理解促進への取組強化
想定する事業の成果	・県内の大学や企業等と連携・交流による行政サービスの向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	包括連携協定事業	各団体と協定を結び、地域課題についての調査・研究において相互協力を行う。	0	総合政策課	B	
2	自衛隊家族会補助事業	自衛隊家族会に対し補助金を交付して運営を支援することで、町、自衛隊、同会が一体となって自衛官募集業務に取り組むよう体制を整える。	0	総務課	A	●
3	広報発行事業	行政情報の提供のために毎月1回、町の情報紙「広報おおづ」を発行。	10,268	総合政策課	A	●
4	議会運営事業	定例会、臨時会、各常任委員会、各特別委員会などの町議会活動の運営及び議会の活性化や情報発信の取り組み。	92,335	議会事務局	A	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	3	1	0	0	4		
合計点数	300	75	0	0	375	93.75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	議会運営事業							解決した課題	ICT推進基本計画に基づく議会システムの活用や初のオンライン委員会の実施。議会活性化特別委員会による町民向けイベントの実施。
事業概要	定例会、臨時会、各常任委員会、各特別委員会などの町議会活動の運営及び議会の活性化や情報発信の取り組み。							残された課題	議会活性化に向けた、①町民との接点づくり、②議員定数の検討、③議員報酬の検討、④政務活動費の検討。
担当課	議会事務局	R5事業費 (千円)		92,335			千円	今後の施策展開の方向性	令和7年2月に議員改選を迎えるが、上記4つの課題について引き続き検討や取り組みを進める。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
傍聴者数	人	125	154	/	/	200			

事業名	広報発行事業							解決した課題	・広報編さん委員会からPR推進員会へ移行し、全庁の情報発信の意識付け強化を図った。 ・作成スケジュールや原稿様式の見直しなど、質の高い情報発信に向けた取組を行った。
事業概要	行政情報の提供のために毎月1回、町の情報紙「広報おおづ」を発行。							残された課題	・広報おおづを含む全体の情報発信強化の検討。 ・ホームページなどとの連携した情報発信方法の検討。用語の統一や「伝わる」表現など発信の質の向上。編集業務の委託検討。
担当課	総合政策課	R5事業費 (千円)		10,268			千円	今後の施策展開の方向性	・デジタル化が進んでいることにより、ホームページを情報発信基盤とした、情報発信体制の構築および紙媒体である広報おおづの役割の検討を踏まえてリニューアルが必要。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
毎月読む割合	%	62.9	62.5	/	/	72			

事業名	自衛隊家族会補助事業							解決した課題	コロナ禍で家族会の活動は縮小されたものの、協力関係は維持し、同会、自衛隊、町が一体となって募集業務を行うことができた。
事業概要	自衛隊家族会に対し補助金を交付して運営を支援することで、町、自衛隊、同会が一体となって自衛官募集業務に取り組むよう体制を整える。							残された課題	コロナ禍以前の連携体制の水準に戻していくことはもとより、より良い連携体制のあり方も模索する必要がある。
担当課	総務課	R5事業費 (千円)		0			千円	今後の施策展開の方向性	家族会の活動を活発化するためにしっかりと支援していくとともに、引き続き、同会、自衛隊、町に加え、募集相談員とも連携体制を整え、入隊者の確保につなげる。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
入隊者数	人	11	4	/	/	10			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
				/	/				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
				/	/				

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」“つながり”と“安心”の持てるまち	施策評価
基本施策	1	まちづくり参画と行政との連携	
施策の体系(柱)	2	地域コミュニティの活性化支援	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合う仕組みづくりの在り方検討、推進 ・持続可能な地域活動推進に向けた、助成や人材育成支援 ・各種支援制度の情報発信・周知促進 ・地区担当職員制度を生かした連携、要望や課題抽出による支援充実 ・自治会同士の好事例共有化、連携推進・支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一体感や日常生活での安心感を作り上げ、地域住民が自ら取り組む地域づくりの推進 ・次世代の大津町のまちづくりやを担う人材発掘や育成 ・地区担当職員及び地域代表職員の配置によって地域と町の協力関係を強化し、地域の共助と活性化を推進

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	東熊本青年会議所助成事業	東熊本青年会議所の活動のうち、地域貢献に関するものに対する補助金を交付し、同団体の活動を通じて、住民と町の連携を推進していく。	14	総務課	B	●
2	区長会助成事業	大津町区長会に補助金を交付することで、同会の活動を支援し、地域の共助や活性化を推進するとともに、地域と町の協力関係を強化する。	689	総務課	A	●
3	地域づくり活動支援事業補助金	地域の住民同士の顔が見える関係を築いて、地域の一体感や日常生活での安心感を作り上げるために、地域住民が自ら取り組む地域づくり活動に対して補助金を支援する。	2,704	総合政策課	A	●
4	まちづくり担い手育成事業補助金	次世代の大津町のまちづくりの担い手となる人材を育成するために、団体が行う研修等の経費に対し補助金を交付する。	0	総合政策課	B	●
5	元気大津づくり活動事業 （「水水」ポイント）	町民が自発的な意思に基づき、地域社会に貢献する目的を持って行う「元気大津づくり活動」に対し、水水ポイントを付与し、活動を促進する。	831	総合政策課	A	●
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	3	2	0	0	5		A
合計点数	300	150	0	0	450	90	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域づくり活動支援事業補助金						解決した課題	新型コロナウイルスの影響が落ち着き、事業の活用によって活動を再開する地域や活動の幅を広げる地域が見られるようになった。
事業概要	地域の住民同士の顔が見える関係を築いて、地域の一体感や日常生活での安心感を作りあげるために、地域住民が自ら取り組む地域づくり活動に対して補助金を支援する。						残された課題	人口の減少や高齢化などにより事業実施が困難である地域もあり、補助制度の活用には地域差が生じている。補助制度のPRを強化し、自主的な地域の取組の促進が必要である。
担当課	総合政策課	R5事業費(千円)		2,704		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
事業実施団体	地区	28	25			35		

事業名	元気大津づくり活動事業（「水水」ポイント）						解決した課題	平成30年度の制度改正以降、実活動人数は増加傾向にある。
事業概要	町民が自発的な意思に基づき、地域社会に貢献する目的を持って行う「元気大津づくり活動」に対し、水水ポイントを付与し、活動を促進する。						残された課題	活用実績のない登録者への継続確認
担当課	総合政策課	R5事業費(千円)		831		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
参加登録者数	人/年	1,289	1,325			1,500		

事業名	区長会助成事業						解決した課題	4年振りの県外研修を実施し、地域の代表である区長の防災意識向上に寄与した。
事業概要	大津町区長会に補助金を交付することで、同会の活動を支援し、地域の共助や活性化を推進するとともに、地域と町の協力関係を強化する。						残された課題	外国人転入者が増加する中、各地域住民との関係性（ゴミ出しや地域行事への参加など）が課題。
担当課	総務課	R5事業費(千円)		688		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
研修回数	回	1	2			2		

事業名	東熊本青年会議所助成事業						解決した課題	コロナ禍後、徐々に活動の活発化がみられ、地域イベントや人材育成事業を通じた地域活性化に取り組む同団体の支援ができた。
事業概要	東熊本青年会議所の活動のうち、地域貢献に関するものに対する補助金を交付し、同団体の活動を通じて、住民と町の連携を推進していく。						残された課題	同団体の目標である「個人の資質向上」に対して補助金を活用することがないよう、地域活性化に対する取組について補助することを明確にする必要がある。
担当課	総務課	R5事業費(千円)		14		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
地域活動数	回	3	3			3		

事業名	まちづくり担い手育成事業補助金						解決した課題	平成30年度の制度開始以来、延べ14件の申請があり人材育成に寄与している。
事業概要	次代の大津町のまちづくりの担い手となる人材を育成するために、団体の行う研修等の経費に対し補助金を交付する。						残された課題	令和4年度、令和5年度の制度利用申請数は0件となっている。コロナ禍による活動制限も緩和し、制度のPRや利用実績の広報など、より積極的な取組が必要である。
担当課	総合政策課	R5事業費(千円)		0		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
制度利用申請数	件	0	0			5		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」「つながり」と“安心”の持てるまち	施策評価
基本施策	2	健全な行財政の運営	
施策の体系(柱)	1	効率的・効果的な行財政の運営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画に基づく施設の運営コスト削減や平準化 民間資本やノウハウ導入による官民連携推進 健全な財政維持に向けた課税・徴収・処分、啓発による税の関心向上
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 中長期的な視点による公共施設の適正管理や財政需要の増加を踏まえた事業の見直しによる財源の確保 指定管理者制度やPFI等を検討し、より効率的な施設運営の実施 課税対象者の把握と適正・公平な課税及び滞納者の早期把握による徴収率の向上と厳正な滞納処分

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	公共施設等総合管理計画	施設に係る運営コスト削減や改修費平準化を目指し、策定した計画を元に、施設マネジメントの効率化を図る。	4,053	財政課	A	●
2	財産管理費	庁舎、公用車、普通財産等の適正管理を行う。	11,195	財政課	B	
3	町税の徴収事務	賦課された町税（個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税）の徴収率の向上を図るために必要な諸施策（滞納処分業務）を適時に実施する。	3,393	税務課	A	●
4	軽自動車税課税事務	地方税法に基づき、賦課期日（4月1日）現在において、町内に主たる定置場のある軽自動車等の所有者又は使用者に対して課税し納税通知書を発送する。	2,537	税務課	A	
5	固定資産税課税事務	地方税法に基づき、賦課期日（1月1日）における固定資産（土地・家屋・償却資産）について、適正な評価を行い賦課し、納税通知書を発送する。	34,242	税務課	A	●
6	個人町民税及び法人町民税課税事務	個人町民税・法人町民税の課税に係る納税通知書・台帳等各種帳票類の作成、納税通知書等の印刷・封入・発送を行う。	24,581	税務課	A	●
7	会計管理事業	大津町各会計及び基金出納事務を行う。	11,274	会計課	A	
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	6	1	0	0	7		
合計点数	600	75	0	0	675	96.43	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	固定資産税課税事務						解決した課題	令和6年度評価替えに伴い、土地と家屋の価格の見直しを実施し、適正な評価及び課税事務を行うことができた。
事業概要	地方税法に基づき、賦課期日（1月1日）における固定資産（土地・家屋・償却資産）について、適正な評価を行い賦課し、納税通知書を発送する。						残された課題	令和6年7月に地籍情報システムの契約満了を控えているため、新規契約を行う必要がある。また、引き続き開発や家屋の新築が増加する見込みであるため、適宜評価や現地確認が必要。
担当課	税務課	R5事業費 (千円)		34,242		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
収納率(現年分)	%	99.52	99.53	/	/	99.00		
土地の現況確認など、必要に応じて現地調査等を実施しながら、課税客体の適正な把握と正確で公平公正な賦課に努める。								

事業名	個人町民税及び法人町民税課税事務						解決した課題	毎年、行われる税制改正に対応し、申告対応と賦課業務を円滑に行うことができた。
事業概要	個人町民税・法人町民税の課税に係る納税通知書・台帳等各種帳票類の作成、納税通知書等の印刷・封入・発送を行う。						残された課題	毎年、実施される税制改正への対応と申告時期から賦課時期にかかる急激な事務量の負担を標準化システムへの対応とともに業務量軽減の手段を検討していく必要がある。
担当課	税務課	R5事業費 (千円)		24,581		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
収納率(現年分)	%	99.30	99.25	/	/	99.00		
R7年度に標準化システムの切り替えが予定されているので、新しいシステムに対応した業務量軽減及び税制改正への対応を行うとともに、公平公正で正確な賦課事務を行っていく。								

事業名	町税の徴収事務						解決した課題	町税収納率としては目標を上回っている。
事業概要	賦課された町税（個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税）の徴収率の向上を図るために必要な諸施策（滞納処分業務）を適時に実施する。						残された課題	口座振替の目標値は上回っているが、振替率は年々減少している。収納手数料が比較的低額であり、確実な納期内納付が期待できる口座振替の一層の動員や手続きの簡素化を図る必要がある。
担当課	税務課	R5事業費 (千円)		3,393		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
収納率(現年度)	%	99.31	99.30	/	/	99.10		
現年度対策の重点的な取り組みが一定の効果を上げているので、継続して行う。窓口業務等は民間委託を導入し、より一層の滞納整理事業の強化を行う。								

事業名	公共施設等総合管理計画						解決した課題	個別施設計画の不足部分を補填し、総合管理計画を改定した。
事業概要	施設に係る運営コスト削減や改修費平準化を目指し、策定した計画を元に、施設マネジメントの効率化を図る。						残された課題	総合管理計画に沿った施設更新に向け、財源の確保調整を行う必要がある。
担当課	財政課	R5事業費 (千円)		4,053		千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
公共施設等総合管理計画の更新		計画見直	計画改定	/	/	計画運用		
改訂した総合管理計画を元に、施設マネジメントの効率化を図る								

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)				千円		
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
				/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」「つながり」と“安心”の持てるまち	施策評価
基本施策	2	健全な行財政の運営	
施策の体系(柱)	2	職員の人材育成・人材確保	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な研修の効果的な実施 ・各種支援制度等の効果的運用による自発的な取組推進 ・人事交流を通じた多面的な人材育成 ・適正な目標設定と人事評価による指導・業務管理合理化 ・希望・適正にも配慮した配置による職員能力の発揮 ・組織力向上に向けた管理職のマネジメント力強化 ・行政課題やサービスを見込んだ職員採用計画に基づいた人材確保
想定する事業の成果	効果的な職員研修の実施、各種研修への参加、人事交流等により職員の人材育成を進めるとともに、有為な人材を採用、確保しながら組織力を向上させることで適正な事務の執行及び住民サービスの向上を図る。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	職員研修事業	人材育成基本方針に基づき、各種職員研修を計画的に開催するとともに自己申告研修や研修機関への派遣等により職員の意識改革や能力向上を図る。	5,957	総務課	A	●
2	会計年度任用職員雇用事業	常勤職員の補助的業務や臨時的な業務を行うために、資格免許職、一般事務職などの会計年度任用職員を募集し、面接試験にて採用（任用）を行う。	93,748	総務課	A	
3	その他の人事秘書事業	職員にかかる健康診断や職員管理関係システム、表彰関係等の費用	24,365	総務課	A	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	3	0	0	0	3		A
合計点数	300	0	0	0	300	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	職員研修事業						解決した課題	人材育成基本方針に基づき、計画的に会計年度任用職員も含めた全職員へ研修を実施した。また、常勤職員に対しては実現力講座やロジカルシンキング研修などテーマを絞って集中的に研修を行った。
事業概要	人材育成基本方針に基づき、各種職員研修を計画的に開催するとともに自己申告研修や研修機関への派遣等により職員の意識改革や能力向上を図る。						残された課題	事務上のミスの減少、若手職員の実務能力の向上、管理職のチェック機能強化などに向けてより力を入れて研修に取り組む必要がある。また、若年層の離職防止等に向けメンター制度研修などにも取り組んでいく。
担当課	総務課	R5事業費 (千円)		5,957			千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
研修の参加人数	人	735	1,612			500	今後も引き続き、人材育成基本方針に基づき、職員研修を実施する。	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」“つながり”と“安心”の持てるまち	施策評価
基本施策	2	健全な行財政の運営	
施策の体系(柱)	3	業務効率化とサービスの向上	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力活用、業務効率化、サービス品質向上 ・自治体システム共通化・標準化 ・「自治体DX推進計画」の重点事項への取り組み ・「大津町DX推進計画」の推進 ・地域のデジタル化、使い方研修等による支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体システム標準化・共通化の円滑な移行 ・大津町DX推進計画の推進 ・DXを始めとした業務改善による業務効率化、住民サービスの向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	熊本連携中枢都市圏連携事業	熊本市及び周辺市町村において「熊本連携中枢都市圏」を形成し、事業を連携させながら圏域の活性化を図る。(6事業2,745千円)	各課にて計上	総合政策課	B	
2	DX推進計画推進事業	国の自治体DX推進計画やデジタル田園都市国家構想に基づき、令和4年度に策定した大津町DX推進計画の取組みを推進する。	0	総務課	A	●
3	総合行政システム事業	町基幹業務を電算化した「総合行政システム」を運用。事務処理時間の短縮や住民サービス向上に寄与。	97,410	総合政策課	A	
4	地域情報化整備事業	ネットワーク環境をはじめ情報基盤を整備し、業務効率化や情報セキュリティの強化のための基盤を整備する。	54,769	総合政策課	A	
5	コンビニ交付事業	住民票、印鑑証明、税証明書などの各種証明書のコンビニ交付サービス	4,688	住民課	A	
6	住民基本台帳ネットワークシステム整備事業	地方公共団体のネットワーク化による行政事務の効率化	8,804	住民課	A	
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	5	1	0	0	6		A
合計点数	500	75	0	0	575	95.83	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	DX推進計画推進事業							解決した課題	車型スマホ教室や地区公民館でのスマホ教室を開催し、デジタルデバインド対策に取り組んだ。
事業概要	国の自治体DX推進計画やデジタル田園都市国家構想に基づき、令和4年度に策定した大津町DX推進計画の取組みを推進する。							残された課題	大津町DX推進計画のアクションプランの進捗管理や業務改善の機運醸成。
担当課	総務課	R5事業費 (千円)		0			千円	今後の施策展開の方向性	今後の行政需要の多様化や職員負担の増大を見据え、デジタルを活用した業務効率化の推進及び職員の意識改革。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
-	-	-	-	/	/	-			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
-	-	-	-	/	/	-			

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
				/	/				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
				/	/				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値			
				/	/				

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」“つながり”と“安心”の持てるまち	施策評価
基本施策	2	健全な行財政の運営	
施策の体系(柱)	4	広域行政の推進・多様な主体との連携	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的行政課題の改善に向けた連携・協力体制強化 ・「熊本連携中枢都市圏」を通じた圏域の活性化、事業合理化 ・地域課題の解決に向けた、包括連携協定による調査・研究、事業実施
想定する事業の成果	・広域で取り組むことによる、行政サービスの効率性・効果性の向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	熊本連携中枢都市圏連携事業 (再掲)	熊本市及び周辺市町村において「熊本連携中枢都市圏」を形成し、事業を連携させながら圏域の活性化を図る。 (6事業2,745千円)	各課にて計上	総合政策課	B	
2	包括連携協定事業 (再掲)	各団体と協定を結び、地域課題についての調査・研究において相互協力を行う。	0	総合政策課	B	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性		
				/	/				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性		
				/	/				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性		
				/	/				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性		
				/	/				

事業名								解決した課題	
事業概要								残された課題	
担当課			R5事業費 (千円)					千円	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性		
				/	/				

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」“つながり”と“安心”の持てるまち	施策評価 B
基本施策	3	人権を尊重する地域社会の形成	
施策の体系(柱)	1	人権が尊重される地域づくり	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる機会を通じた人権啓発活動推進 部落差別解消推進法を踏まえた人権啓発推進、町民への周知徹底 インターネットによる人権侵害防止の取組推進 人権啓発福祉センターにおける、より多様な人が参加できる活動展開 安心・安全・便利に参加できる新たな参加環境づくり 誰もが尊重される社会の実現に向けた取組推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 学校、家庭、職場及び地域など、あらゆる機会を通じた人権啓発活動の実施 インターネットによる人権侵害について、学校や地域社会との連携による人権教育の実施 誰もが尊重される地域社会の実現に向けた取り組みの実施 人権啓発福祉センターや児童館を人権のまちづくりの拠点として地域や世代間交流を深め、広く多くの方に参加いただける活動の実施

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	人権啓発福祉センター運営費	人権啓発福祉センター（隣保館）の運営費	13,684	人権推進課	B	●
2	児童館運営費	人権啓発福祉センター（児童館）の運営費	3,853	人権推進課	B	●
3	人権啓発福祉センター建物改修事業	人権啓発福祉センター（隣保館）の長寿命化のための改修事業	28,708	人権推進課	A	●
4	人権対策事業	地域や企業、各種団体など対象にした一般向け啓発活動を行う。また、各課等の町職員研修や部落差別等撤廃・人権擁護審議会委員等の会議や活動を通じて人権意識を高め、地域リーダーとしての育成を図る。	1,134	人権推進課	B	●
5	人権教育啓発事業	県や教育委員会等と連携し、学校における児童生徒向けの出前講座やまちづくり懇談会を実施しながら、次世代の人権尊重社会の実現のため、人権教育、啓発活動の推進を図る。	5,222	人権推進課	B	●
6	大津町人権・同和教育推進協議会補助事業	「行政推進」「就学前・学校教育」「社会教育」「進路保障」の4部会で組織され、人権・同和教育推進大会や人権を考えるみんなのつどいを開催し、全町民を対象とした人権教育・啓発活動を推進する。	385	人権推進課	B	
7	団体活動助成事業	部落差別をはじめ様々な人権に関する問題が存在する中、行政と連携した啓発活動や人権のまちづくりに向けた人権運動団体に対して助成を行う。	2,586	人権推進課	B	
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	6	0	0	7		B
合計点数	100	450	0	0	550	78.6	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	人権啓発福祉センター建物改修事業						解決した課題	昭和55年建設から43年が経過し、老朽化が目立っていた建物の機械・電気設備等の改修が完了した。
事業概要	人権啓発福祉センター（隣保館）の長寿命化のための改修事業						残された課題	町の指定避難所にも指定されているため、災害時の停電対策（非常用発電機等）などを強化する。
担当課	人権推進課	R5事業費 (千円)		28,708		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
-	-	-	-	/	/	-		

事業名	人権啓発福祉センター運営費						解決した課題	センター（機械・電気設備等）改修工事のため、一時期一部の部屋が使用できないこともあったが、徐々に利用者も増加した。
事業概要	人権啓発福祉センター（隣保館）の運営費						残された課題	児童・生徒や教職員以外の一般利用者が地域住民が主でほとんどが高齢者であるため、新たな利用者を開拓する必要がある。
担当課	人権推進課	R5事業費 (千円)		13,684		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
隣保館来館者数（年間）	人	6,489	7,487	/	/	16,000		

事業名	人権教育啓発事業						解決した課題	小規模の集会や人権教育交流支援事業の学習会により、参加者に対する啓発ができた。
事業概要	県や教育委員会等と連携し、学校における児童生徒向けの出前講座やまちづくり懇談会を実施しながら、次世代の人権尊重社会の実現のため、人権教育、啓発活動の推進を図る。						残された課題	学習会、研修会及び人権のまちづくり懇談会等の開催を実施しつつ、オンラインによる配信等、新たな手法による啓発事業を実施し、これまで参加が少なかった町民に向けた啓発を実施していく必要がある。
担当課	人権推進課	R5事業費 (千円)		5,222		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
学習会参加者数	人/年	875	991	/	/	1200		

事業名	児童館運営費						解決した課題	来館者は昨年度とほぼ同数であるが、コロナが明け食への制限が緩和され、季節に合った行事ができた。
事業概要	人権啓発福祉センター（児童館）の運営費						残された課題	児童館の認知はまだ行き届いていないところがあるので、広く周知し、より来館者を増やす。
担当課	人権推進課	R5事業費 (千円)		3,853		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
児童館来館者数（年間）	人	3,908	3,850	/	/	4,000		

事業名	人権対策事業						解決した課題	町職員研修を実施し、人権問題への理解を深めた。また、イベントのオンライン配信を実施し、人権問題に関する啓発を行い、理解を深めた。
事業概要	地域や企業、各種団体など対象にした一般向け啓発活動を行う。また、各課等の町職員研修や部落差別等撤廃・人権擁護審議会委員等の会議や活動を通じて人権意識を高め、地域リーダーとしての育成を図る。						残された課題	頻発する部落差別事象や、啓発事業に否定的な意見を持った人の存在など、今もなお人権課題が残されており、より一層の啓発が必要である。
担当課	人権推進課	R5事業費 (千円)		1,134		千円	今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
人権が尊重されていると感じる町民の割合	%/年	44.2	42.1	/	/	55		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」“つながり”と“安心”の持てるまち	施策評価
基本施策	3	人権を尊重する地域社会の形成	
施策の体系(柱)	2	男女共同参画の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・性別にかかわらず、個性と能力を発揮できるまちづくりの推進 ・男女共同参画に関する正しい情報に触れ、学ぶ機会の創出 ・あらゆる暴力の防止啓発活動、窓口明確化、相談・連携体制整備構築 ・働く意欲をもつ女性が能力と個性を発揮できるまちの実現に向けた取組 ・仕事と家庭の調和の実現に向けた啓発と環境整備推進
想定する事業の成果	男女が互いに人権を尊重し、「女性」や「男性」というイメージにあてはめてしまうことなく、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮できる豊かな社会の実現

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R5事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	男女共同参画推進事業	各種研修会や講演会、出前講座等の実施、企業・関係団体との連携、啓発活動団体への支援、男女共同参画審議会の開催、人材バンク登録事業の推進など	1,188	人権推進課	B	●
2	地域リーダー育成事業	男女共同参画社会づくり地域リーダー育成研修生を募集し、地域や職場などで活躍する人材の育成・発掘	39	人権推進課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	1	1	0	0	2		B
合計点数	100	75	0	0	175	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	男女共同参画推進事業						解決した課題	事業実施が困難な状況が続いていたが、学校等と連携し、フォト作品募集や出前講座を行うなど、小・中学生や保護者を対象とした啓発活動を実施することができた。
事業概要	各種研修会や講演会、出前講座等の実施、企業・関係団体との連携、啓発活動団体への支援、男女共同参画審議会の開催、人材バンク登録事業の推進など						残された課題	各種団体と連携しての、推進リーダーとなる人材発掘や育成に取り組む。人材バンク登録の推進と活躍機会の提供、またDV相談の支援体制整備が課題。
担当課	人権推進課	R5事業費 (千円)		1,188			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
「男性は仕事、女性は家庭」という性別役割分担意識に同感しない人の割合	%	77.9	76.5	/	/	85.0		

事業名	地域リーダー育成事業						解決した課題	過去の研修生は推進リーダーとして、地域や職場、各種審議会などの幅広い分野で、自らの経験や知識を活かし、住民の助言者として活躍している。
事業概要	男女共同参画社会づくり地域リーダー育成研修生を募集し、地域や職場などで活躍する人材の育成・発掘						残された課題	研修で得た知識や経験を成果に繋げるため、活躍の機会を与えることが必要。啓発活動への参加協力や人材バンク登録、各種審議会等への推薦など。
担当課	人権推進課	R5事業費 (千円)		39			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
研修生の参加	人	-	1	/	/	2		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R5事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
				/	/			